

# もくじ

もくじ .....	1
はじめに .....	5
やりたいことを探そう！ .....	10

## 1章 本体の機能

15

1 各部の名前 .....	16
① 前面図 .....	16
② 背面図 .....	18
③ 裏面図 .....	19
2 システムインジケータ .....	21
3 キーボード .....	22
① キーボード図 .....	22
② キーシフトインジケータの切り替え .....	24
③ キーを使った便利な機能 .....	25
4 タッチパッドとマウス .....	29
① タッチパッドを設定するには .....	29
② タッピング機能 .....	30
③ タッチパッドを無効／有効にするには .....	30
④ マウスの設定 .....	31
5 ディスプレイ .....	33
① ディスプレイの設定 .....	33
② 時間帯で壁紙を変える .....	34
6 ハードディスクドライブ .....	41
7 サウンド機能 .....	42
① スピーカの音量を調整する .....	42
② 音楽／音声の録音レベルを調整する .....	43
8 マルチドライブ .....	44
① 使用できるメディアとアプリケーション .....	44
② 使用できる CD .....	45
③ 使用できる DVD .....	46
9 SD メモリカード .....	48
① SD メモリカードについて .....	48
② SD メモリカードのセットと取り出し .....	49
③ SD メモリカードを使う前に .....	50

10 ワンタッチボタン .....	54
11 セキュリティロック .....	55

## 2章 音楽と映像

57

1 音楽CDを聴く .....	58
2 音楽ファイルを聴く .....	62
① BeatJamでファイルを再生する .....	62
② Windows Media Playerでファイルを再生する .....	65
3 オリジナル音楽CDを作る .....	69
① Drag'n Drop CD + DVDを使うために .....	69
② Drag'n Drop CD + DVDを使う .....	71
③ Drag'n Drop CD + DVDを終了する .....	73
4 DVD-Videoを観る .....	74
① InterVideo WinDVDを起動する .....	75
② InterVideo WinDVDを使う .....	76
5 デジタルカメラの写真を編集/整理する .....	80
6 映像を編集する .....	83
① 映像データをパソコンに取り込む .....	83
② MotionDV STUDIOで映像データを編集する .....	86

## 3章 通信機能

95

1 LANへ接続する .....	96
① ケーブルを使ったLAN接続（有線LAN） .....	96
② ネットワーク設定に便利な機能 .....	98
2 内蔵モデムについて .....	103
① 海外でインターネットに接続する .....	103

## 4章 周辺機器の接続

107

1 周辺機器について .....	108
2 PCカードを接続する .....	110
① PCカードを使う前に .....	110
② PCカードを使う .....	111

3	USB 対応機器を接続する	113
4	テレビを接続する	115
5	CRT ディスプレイを接続する	118
6	i.LINK (IEEE1394) 対応機器を接続する	119
7	その他の機器を接続する	121
	① マイクロホン	121
	② ヘッドホン	122
8	メモリを増設する	124

## 5章 バッテリー駆動 129

1	バッテリーについて	130
	① バッテリー充電量を確認する	131
	② バッテリーを充電する	134
	③ バッテリーパックを交換する	136
2	省電力の設定をする	138
3	パソコンの使用を中断する／電源を切る	143
	① スタンバイ	144
	② 休止状態	144
	③ 簡単に電源を切る／パソコンの使用を中断する	146

## 6章 アプリケーションについて 149

1	アプリケーションを使う前に	150
2	アプリケーションを追加 (インストール) する	152
3	アプリケーションを削除 (アンインストール) する	153

## 7章 システム環境の変更 155

1	システム環境の変更とは	156
2	東芝 HW セットアップを使う	157
3	BIOS セットアップを使う	165
	① 起動と終了	165
	② 画面と基本操作	167
	③ 設定項目	168

## 付録

183

1 本製品の仕様 .....	184
2 技術基準適合について .....	191
総合さくいん .....	204

# はじめに

本製品を安全に正しく使うために重要な事項が、同梱の冊子『安心してお使いいただくために』に記載されています。必ずお読みになり、正しくお使いください。お読みになった後は、いつでも見られるようにお手元に大切に保管してください。

本書は、次の決まりに従って書かれています。

## 記号の意味

 <b>危険</b>	“取扱いを誤った場合、使用者が死亡または重傷（*1）を負うことがあり、その切迫の度合いが高いこと”を示します。
 <b>警告</b>	“取扱いを誤った場合、使用者が死亡または重傷（*1）を負うことが想定されること”を示します。
 <b>注意</b>	“取扱いを誤った場合、使用者が傷害（*2）を負うことが想定されるか、または物的損害（*3）の発生が想定されること”を示します。
 <b>お願い</b>	データの消失や、故障、性能低下を起こさないために守ってほしい内容、仕様や機能に関して知っておいてほしい内容を示します。
 <b>メモ</b>	知っていると便利な内容を示します。
 <b>役立つ操作集</b>	知っていると役に立つ操作を示します。
 <b>参照</b>	このマニュアルや他のマニュアルへの参照先を示します。 このマニュアルへの参照の場合 … 「 」 他のマニュアルへの参照の場合 … 『 』 サイバーサポートへの参照の場合 … 〈 〉 サイバーサポートにはさまざまな情報が搭載されており、自然語で検索できます。

\* 1 重傷とは、失明やけが、やけど（高温・低温）、感電、骨折、中毒などで、後遺症が残るものおよび治療に入院・長期の通院を要するものをさします。

\* 2 傷害とは、治療に入院や長期の通院を要さないけが・やけど・感電などをさします。

\* 3 物的損害とは、家屋・家財および家畜・ペット等にかかわる拡大損害をさします。

## 用語について

本書では、次のように定義します。

**システム** 特に説明がない場合は、使用しているオペレーティングシステム (OS) を示します。本製品のシステムは Windows XP です。

**アプリケーションまたはアプリケーションソフト**  
アプリケーションソフトウェアを示します。

**Windows XP** Microsoft® Windows® XP Home Edition operating system 日本語版を示します。

**MS-IME** Microsoft® IME スタンダード 2002 を示します。

**サイバーサポート**  
CyberSupport for TOSHIBA を示します。

**1394 モデル** i.LINK (IEEE 1394) 機能を内蔵しているモデルを示します。

**テレビアウトモデル**  
ビデオ出力機能を内蔵しているモデルを示します。

**Office 搭載モデル**  
Microsoft® Office XP Personal がプレインストールされているモデルを示します。

## 記載について

- ・ 記載内容によっては、一部のモデルにのみ該当する項目があります。その場合は、「用語について」のモデル分けに準じて、「\*\*\*モデルのみ」と注記します。
- ・ インターネット接続については、内蔵モデムを使用した接続を前提に説明しています。
- ・ アプリケーションについては、本製品にプレインストールまたは同梱の CD からインストールしたバージョンを使用することを前提に説明しています。
- ・ 本書で使用している dynabook のイラストは、i.LINK (IEEE 1394) コネクタ、ビデオ出力端子が装備されているモデルです。実際の仕様は購入したモデルによって異なります。
- ・ 本書に記載している画面やイラストは一部省略したり、実際の表示とは異なる場合があります。

## Trademarks

- ・ Microsoft、Windows、Windows Media、Office ロゴ、Outlook、Bookshelf は、米国 Microsoft Corporation の米国およびその他の国における登録商標です。Bookshelf Basic は、次の書籍を基に制作されました。『新英和辞典』第 6 版 © 研究社 1967, 1994, 1998、『新和英辞典』第 4 版 © 研究社 1933, 1995, 1998、『新明解国語辞典』第 5 版 © 三省堂 1972, 1974, 1981, 1989, 1997
- ・ Intel、インテル、Celeron は、アメリカ合衆国およびその他の国における Intel Corporation またはその子会社の商標または登録商標です。

- ・ CyberSupport、BeatJam、ホームページミックス、マイペンシルは、株式会社ジャストシステムの商標または登録商標です。
- ・ CyberSupport、BeatJam、ホームページミックス/R.2、マイペンシル/R.2は、株式会社ジャストシステムの著作物であり、CyberSupport、BeatJam、ホームページミックス/R.2、マイペンシル/R.2にかかる著作権、その他の権利は株式会社ジャストシステムおよび各権利者に帰属します。
- ・ i.LINK と i.LINK ロゴは商標です。
- ・ Fast Ethernet、Ethernet は富士ゼロックス社の商標または登録商標です。
- ・ LaLaVoice、The 翻訳、The 翻訳インターネット、ConfigFree は（株）東芝の商標または登録商標です。
- ・ 駅前探険倶楽部は株式会社駅前探険倶楽部の登録商標です。
- ・ ekitanExpress Online の商標は出願中です。
- ・ Adobe、Adobe ロゴ、Adobe Acrobat は Adobe Systems Incorporated（アドビ システムズ社）の商標です。
- ・ Drag'n Drop はイージーシステムズジャパン株式会社と株式会社デジオンの登録商標です。
- ・ 駅すばあととは株式会社ヴァル研究所の登録商標です。
- ・ プロアトラスW for TOSHIBAは株式会社アルプス社および株式会社アルプス出版社の登録商標です。
- ・ Symantec、Symantec ロゴ、Norton AntiVirus、LiveUpdate は Symantec Corporation の登録商標です。  
Norton Internet Security は Symantec Corporation の商標です。  
©2003 Symantec Corporation, All Rights Reserved.
- ・ 時事通信社「家庭の医学」デジタル版Ⅱは、時事通信社の商標です。
- ・ MotionDV STUDIO は、松下電器産業株式会社の登録商標です。
- ・ infoPepper は東芝情報システム株式会社の登録商標です。
- ・ アメリカ・オンラインおよび AOL は AOL の登録商標です。
- ・ BIGLOBE は日本電気株式会社の商標です。
- ・ DION は KDDI 株式会社の登録商標です。
- ・ OCN は NTT コミュニケーションズ株式会社の商標です。
- ・ @nifty は、ニフティ株式会社の商標です。
- ・ ODN は日本テレコム株式会社の商標です。
- ・ かるがるネット、かるがるネットのロゴは株式会社アイコムジャパンの商標または登録商標です。

取扱説明書に掲載の商品の名称は、それぞれ各社が商標および登録商標として使用している場合があります。

## プロセッサ (CPU) に関するご注意

本製品に使われているプロセッサ (CPU) の処理能力は次のような条件によって違いが現れます。

- ・ 周辺機器を接続して本製品を使用している場合
- ・ ACアダプタを接続せずバッテリー駆動にて本製品を使用する場合
- ・ マルチメディアゲームや特殊効果を含む映像を本製品にてお楽しみの場合
- ・ 本製品を通常の電話回線、もしくは低速度のネットワークに接続して使用する場合
- ・ 複雑な造形に使用するソフト (例えば、運用に高性能コンピュータが必要に設計されているデザイン用アプリケーションソフト) を本製品上で使用する場合
- ・ 気圧が低い高所にて本製品を使用する場合  
目安として、標高 1,000 メートル (3,280 フィート) 以上をお考えください。
- ・ 目安として、気温 5 ~ 35℃ (高所の場合 25℃) の範囲を超えるような外気温の状態では本製品を使用する場合

本製品のハードウェア構成に変更が生じる場合、CPU の処理能力が実際には仕様と異なる場合があります。

また、ある状況下においては、本製品は自動的にシャットダウンする場合があります。これは、当社が推奨する設定、使用環境の範囲を超えた状態で本製品が使用された場合、お客様のデータの喪失、破損、本製品自体に対する損害の危険を減らすための通常の保護機能です。なお、このようにデータの喪失、破損の危険がありますので、必ず定期的にデータを外部記録機器にて保存してください。また、プロセッサが最適の処理能力を発揮するよう、当社が推奨する状態にて本製品をご使用ください。この他の使用制限事項につきましては取扱説明書をお読みください。また、詳細な情報については東芝 PC ダイヤル 0570-00-3100 にお問い合わせください。

## 著作権について

音楽、映像、コンピュータ・プログラム、データベースなどは著作権法により、その著作者及び著作権者の権利が保護されています。こうした著作物を複製することは、個人的に又は家庭内で使用する目的でのみ行うことができます。上記の目的を超えて、権利者の了解なくこれを複製 (データ形式の変換を含む)、改変、複製物の譲渡、ネットワーク上での配信などを行うと、「著作権侵害」「著作者人格権侵害」として損害賠償の請求や刑事処罰を受けることがあります。本製品を使用して複製などをする場合には、著作権法を遵守のうえ、適切な使用を心がけてください。

## リリース情報について

「リリース情報」には、本製品を使用するうえでの注意事項などが記述されています。必ず読んでください。次の操作を行うと表示されます。

- ① [スタート] → [すべてのプログラム] → [はじめに] → [リリース情報] をクリックする

## お願い

- ・本製品の内蔵ハードディスクにインストールされているシステム（OS）、アプリケーション以外をインストールした場合の動作保証はできません。
- ・内蔵ハードディスクにインストールされているシステム（OS）、アプリケーションは、本製品でのみ利用できます。
- ・購入時に定められた条件以外で、製品およびソフトウェアの複製もしくはコピーをすることは禁じられています。取り扱いには注意してください。
- ・パスワードを設定した場合は、忘れたときのために必ずパスワードを控えておいてください。パスワードを忘れてしまって、パスワードを削除できなくなった場合は、使用している機種を確認後、近くの保守サービスに依頼してください。パスワードの解除を保守サービスに依頼する場合は、有償です。またそのとき、身分証明書（お客様自身を確認できる物）の提示が必要となります。
- ・ご使用の際は必ず付属の『エンドユーザ使用許諾契約書』および『CD-ROM/DVD-ROMに関する注意事項』をお読みください。

本製品のお客様登録（ユーザ登録）をあらかじめ行っていただくようお願いしております。本体同梱の「お客様登録カード」またはインターネット経由で登録できます。

 **参照** 詳細について『まずはこれから ユーザ登録をする』

「保証書」は記入内容を確認のうえ、大切に保管してください。

# やりたいことを探そう！



## 探しかた

- ・ ホームページを見たい  
「Internet Explorer」 ⇒ XXXXX  
↳ アプリケーション名      ↳ 参照ページまたは参照マニュアル名



## 通信を楽しむ

- ・ プロバイダと契約したい  
「簡単インターネット」 ⇒ 『基本をマスター 2章』
- ・ ホームページを見たい  
「Internet Explorer」 ⇒ 『基本をマスター 2章』
- ・ ホームページを英語／日本語に翻訳したい  
「The翻訳 インターネット」 ⇒ 『サイバーサポート』
- ・ 海外でインターネットに接続したい  
「内蔵モデム用地域選択ユーティリティ」 ⇒ P.103
- ・ ネットワークの診断や切り替えをしたい  
「ConfigFree」 ⇒ P.98



## メールを使う

- ・ メールとスケジュールをまとめて管理したい  
「Microsoft Outlook」\*1 ⇒ 『サイバーサポート』
- ・ メールをしたい  
「Microsoft Outlook」\*1 「Outlook Express」 ⇒ 『基本をマスター 3章』

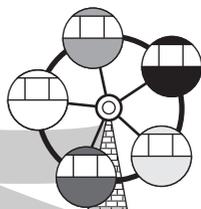


\* 1 Office 搭載モデルのみ



## 音楽を楽しむ

- 音楽CDやファイルを再生、管理したい  
「BeatJam」⇒P.58
- 音楽CDやファイル、ムービーを再生したい  
「Windows Media Player」⇒P.58
- オリジナル音楽CDを作りたい  
「Drag'n Drop CD+DVD」⇒P.69



## 音声

- パソコンを音声で操作したい  
パソコンに文章を読み上げさせたい  
「LaLaVoice」⇒《サイバーサポート》



## 画像/映像を楽しむ

- デジタルカメラの写真を取り込んで編集したい  
「デジカメWalker (Ulead iPhoto Express)」⇒P.80
- DVDを楽しみたい  
「InterVideo WinDVD」⇒P.74
- 映像を取り込んで編集したい  
「MotionDV STUDIO」⇒P.83



## 文書/表を作る

- ・案内状や報告書を作りたい  
「Microsoft Word\*<sup>1</sup>」⇒《サイバーサポート》
- ・表やグラフを作りたい  
「Microsoft Excel\*<sup>1</sup>」⇒《サイバーサポート》



## 便利なソフト

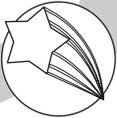
- ・PDFファイルを見たい  
「Acrobat Reader」⇒《サイバーサポート》
- ・地図で場所を調べたい  
「プロアトラスW for TOSHIBA」⇒《サイバーサポート》
- ・電車の経路や時刻表、運賃を調べたい  
「駅すばあと」「ekitanExpress Online」⇒《サイバーサポート》
- ・年賀状や暑中見舞いを作りたい  
「筆ぐるめ」⇒《サイバーサポート》
- ・国語/英和/和英辞典を使いたい  
「Microsoft Bookshelf Basic\*<sup>1</sup>」⇒《サイバーサポート》
- ・医学辞典を使いたい  
「時事通信社「家庭の医学」デジタル版Ⅱ」⇒《サイバーサポート》
- ・ホームページを作りたい  
「ホームページミックス/R.2」⇒《サイバーサポート》
- ・日記をつけたい  
「マイペンシル/R.2」⇒《サイバーサポート》

\* 1 Office 搭載モデルのみ



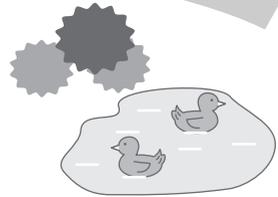
## パソコンを守る

- ・ ウイルスのチェックや駆除をしたい  
「Norton Internet Security」⇒『困ったときは 2章』
- ・ CD-R、CD-RWにバックアップを取りたい  
「Drag'n Drop CD+DVD」⇒『困ったときは 2章』



## パソコンの設定

- ・ パソコンの状態をチェックしたい  
パソコンの基本情報を知りたい  
「東芝PC 診断ツール」⇒『困ったときは 1章』
- ・ ハードウェアの設定を変えたい  
「東芝 HW セットアップ」⇒P.157
- ・ ワンタッチボタンの設定を変えたい  
「東芝コントロール」⇒P.54
- ・ キー操作でアプリケーションを起動したい  
「Fn-esse」⇒《サイバーサポート》
- ・ バッテリー駆動のときの省電力設定をしたい  
「東芝省電力ユーティリティ」⇒P.138
- ・ アイコンやメニューを大きくしたい  
「Liquid View」⇒《サイバーサポート》
- ・ 壁紙の設定をしたい  
「くるくる壁紙チェンジャー」⇒P.34





# 1 章

## 本体の機能

このパソコン本体の各部について、名称、役割、基本の使いかたなどを説明しています。

また、使いやすいように各部機能の設定を変更、調整する操作やショートカットなど役に立つ機能も紹介。各部の手入れについても確認してください。

---

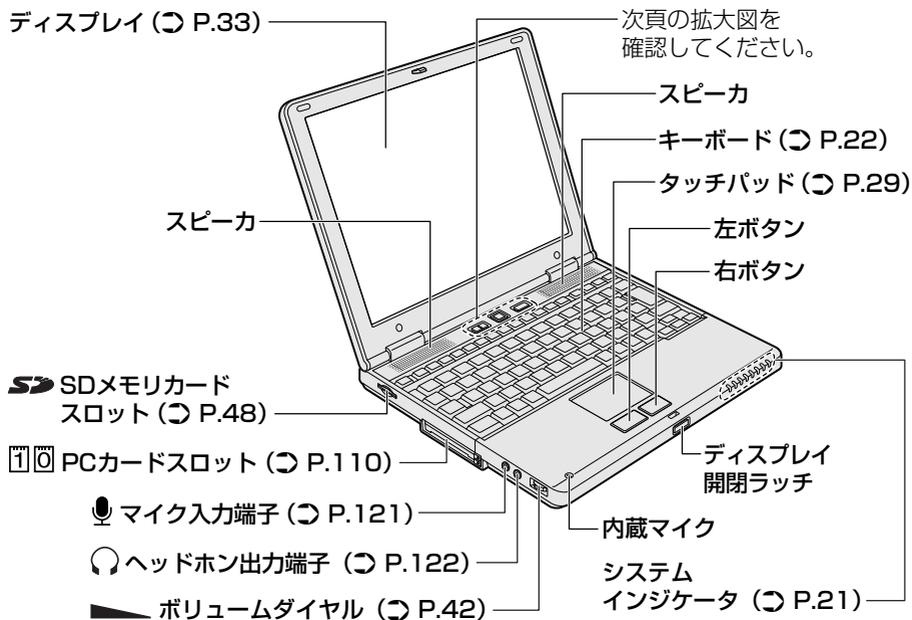
1	各部の名前	16
2	システムインジケータ	21
3	キーボード	22
4	タッチパッドとマウス	29
5	ディスプレイ	33
6	ハードディスクドライブ	41
7	サウンド機能	42
8	マルチドライブ	44
9	SDメモ리카ード	48
10	ワンタッチボタン	54
11	セキュリティロック	55

# 1 各部の名前

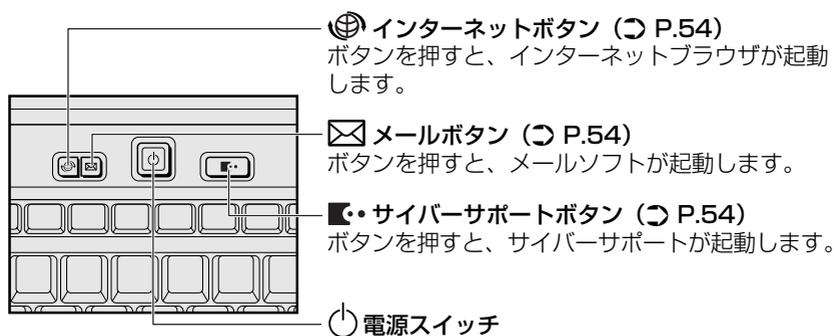
ここでは、各部の名前と機能を簡単に説明します。

それぞれについての詳しい説明については、各参照ページを確認してください。

## 1 前面図



## 【拡大図】



## 【電源スイッチについて】

電源スイッチのランプは、ディスプレイを開けると点灯し、ディスプレイを閉じると消灯します。

また次の場合にもランプが消灯します。

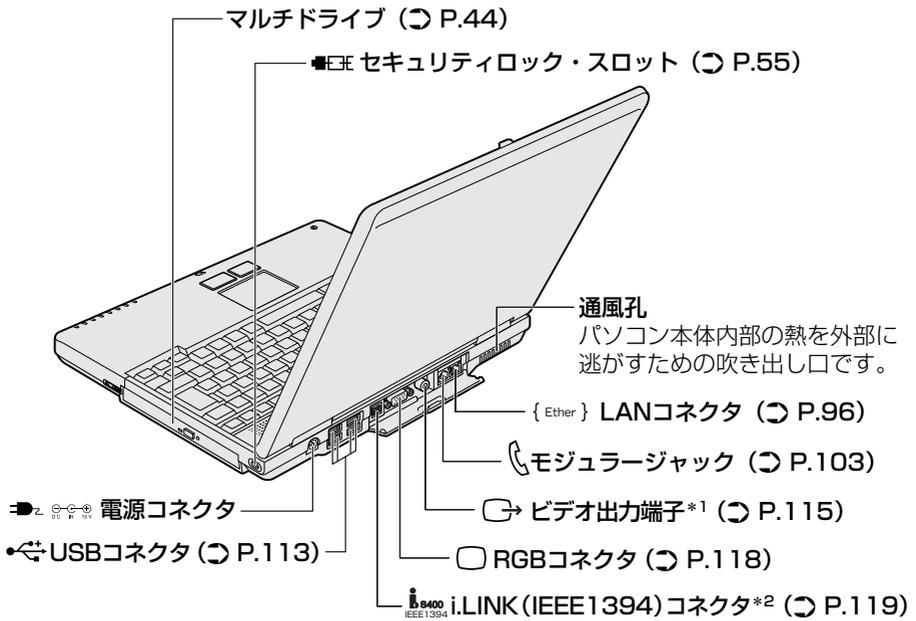
- ・電源を切ったあと1分経過したとき
- ・ディスプレイを開けてから電源スイッチを押さずに1分経過したとき

電源スイッチのランプは、パソコンの状態によって光りかたが変化します。

さらに光りかたの設定を変更することができます。

変更方法は「7章 2-2- [ボタン設定] タブ」を確認してください。

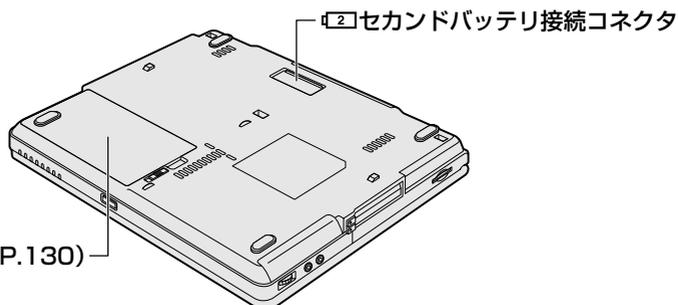
## 2 背面図



\* 1 テレビアウトモデルのみ

\* 2 1394モデルのみ

## 3 裏面図

**⚠ 警告**

- 必ず、本製品付属の AC アダプタを使用してください。本製品付属以外の AC アダプタを使用すると電圧や (+) (-) の極性が異なっていることがあるため、火災・破裂・発熱のおそれがあります。
- パソコン本体に AC アダプタを接続する場合、必ず『まずはこれから』に記載してある順番を守って接続してください。順番を守らないと、AC アダプタの DC 出力プラグが帯電し、感電または軽いケガをする場合があります。また、一般的な注意として、AC アダプタのプラグをパソコン本体の電源コネクタ以外の金属部分に触れないようにしてください。

**⚠ 注意**

- お手入れの前には、必ずパソコンやパソコンの周辺機器の電源を切り、電源コードを AC 電源から抜いてください。電源を切らずにお手入れを始めると、感電するおそれがあります。
- 機器に強い衝撃や外圧を与えないように注意してください。製品には精密部品を使用しておりますので、強い衝撃や外圧を加えると部品が故障するおそれがあります。

## 【電源コードの仕様】

本製品に同梱されている電源コードは、日本の規格にのみ準拠しています。その他の地域で使用する場合は、当該国・地域の法令・安全規格に適合した電源コードを購入してください。

使用できる電圧（AC）は、100Vです。

必ずAC100Vのコンセントで使用してください。

\*取得規格は、電気用品安全法です。

## 【ACアダプタの仕様】

入力：AC100-240V～、1.3A-0.7A、50-60Hz

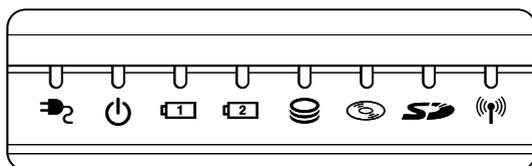
出力：DC15V 4A

## パソコン本体 / 電源コードの取り扱いと手入れ

- 機器の汚れは、柔らかい乾いた布で拭いてください。汚れがひどいときは、水に浸した布を固くしぼってから拭きます。  
ベンジン、シンナーなどは使用しないでください。
- 薬品や殺虫剤などをかけないでください。
- ディスプレイは静かに閉じてください。
- 使用できる環境は次のとおりです。  
温度 5～35℃、湿度 20～80%
- 次のような場所で使用や保管をしないでください。  
直射日光の当たる場所 / 非常に高温または低温になる場所 / 急激な温度変化のある場所（結露を防ぐため） / 強い磁気を帯びた場所（スピーカなどの近く） / ホコリの多い場所 / 振動の激しい場所 / 薬品の充満している場所 / 薬品に触れる場所
- 使用中に本体の底面やACアダプタが熱くなることがあります。本体の動作状況により発熱しているだけで、故障ではありません。
- 電源コードのプラグを長期間にわたってACコンセントに接続したままにしていると、プラグにホコリがたまることがあります。定期的にホコリを拭き取ってください。

## 2 システムインジケータ

システムインジケータの点灯状態によって、パソコン本体がどのような動作をしているのかを知ることができます。



### 【システムインジケータ】

	DC IN LED	電源コードの接続 <a href="#">参照</a> 『まずはこれから』
	Power LED	電源の状態 <a href="#">参照</a> 『まずはこれから』
	Battery LED	バッテリーの状態 <a href="#">参照</a> P.131
	セカンドバッテリーLED *1	セカンドバッテリーの状態
	Disk LED	ハードディスクドライブにアクセスしている <a href="#">参照</a> P.41
	CD-ROM LED	マルチドライブにアクセスしている <a href="#">参照</a> P.44
	SD Card LED	SD メモリカードスロットにアクセスしている <a href="#">参照</a> P.48
	ワイヤレス コミュニケーションLED *2	無線通信機能の状態

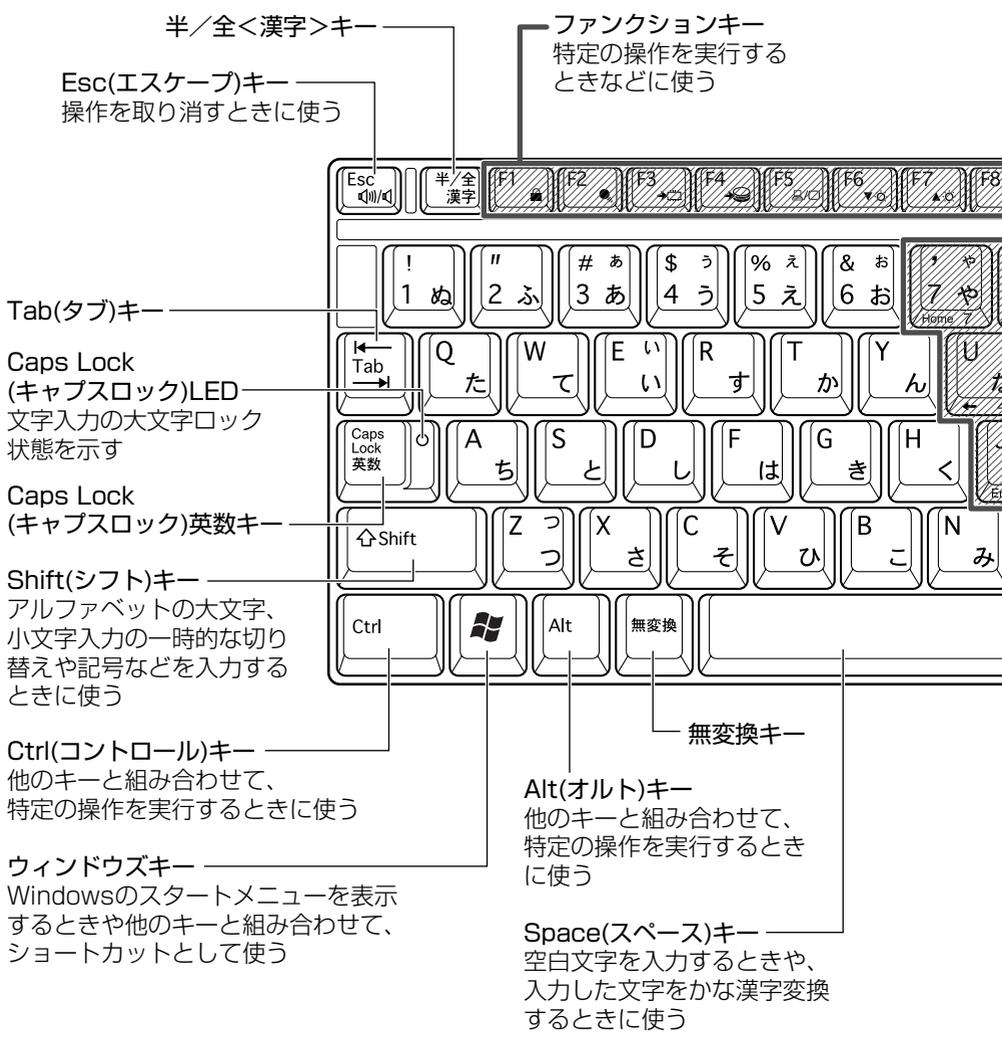
\*1 本製品には、セカンドバッテリーパック（別売り）を取り付けることができます。セカンドバッテリーパックの詳細については、『セカンドバッテリーパックに付属の取扱説明書』を確認してください。

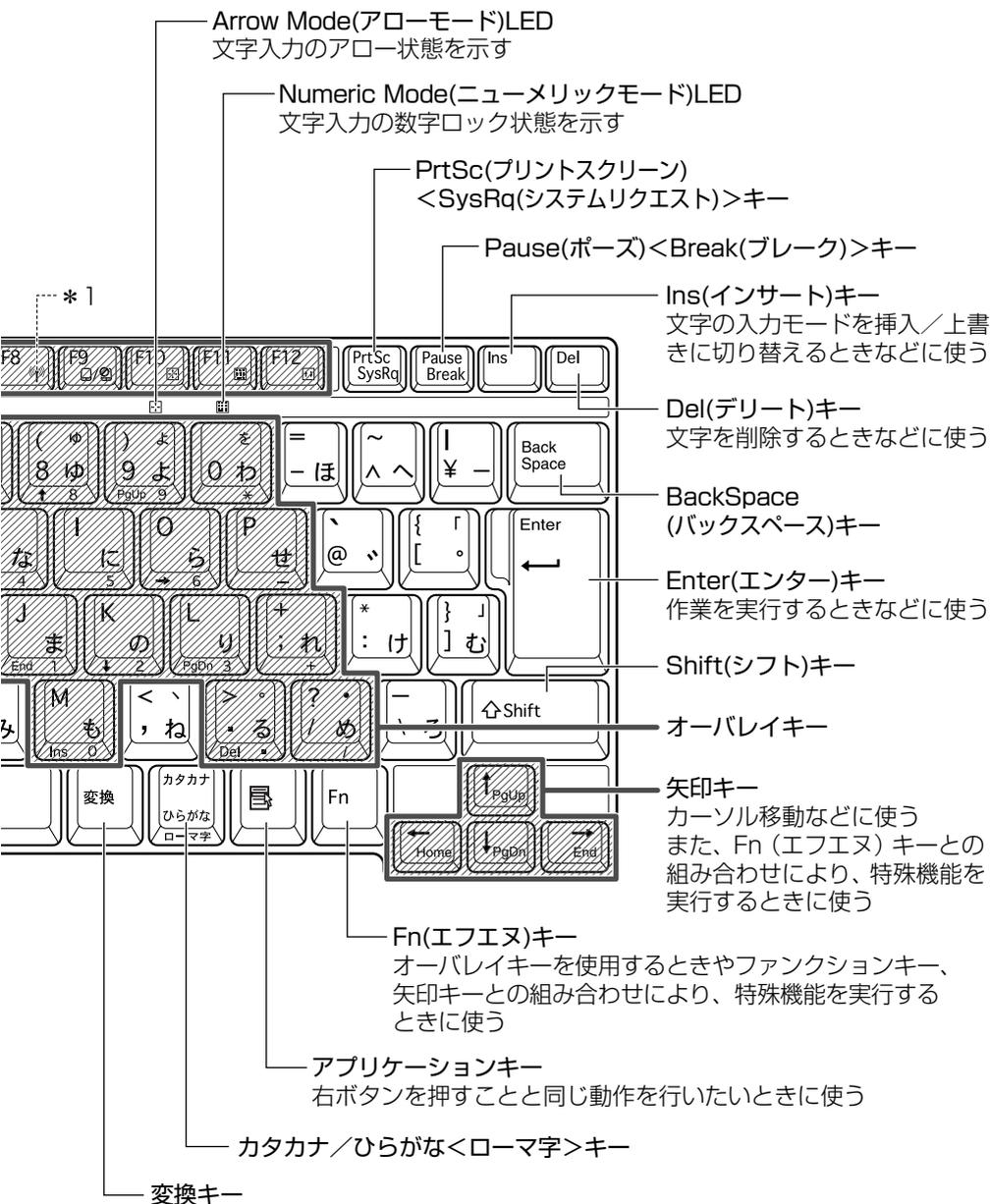
\*2 無線通信機能が搭載されていない場合は点灯しません。

# 3 キーボード

ここでは基本的な使いかたと、それぞれのキーの意味や呼びかたについて簡単に説明します。

## 1) キーボード図





\* 1 本製品ではサポートしていません。

## 2 キーシフトインジケータの切り替え

キーシフトインジケータは、どんな文字が入力できる状態かを示します。

各インジケータの役割と切り替え方法は、次の表のようになっています。それぞれの状態がオンになっているとき、LED が点灯します。その場合、他の2つは解除して消灯してください。

### 【キーシフトインジケータ】

LED	切り替えキー	文字入力の状態
Caps Lock LED	(Shift) + (Caps Lock 英数)	大文字ロック状態 文字キーで英字の大文字が入力できます。
Arrow Mode LED	(Fn) + (F10)	アロー状態 オーバーレイキーで、キーの前面左側に印刷されたカーソル制御ができます。
Numeric Mode LED	(Fn) + (F11)	数字ロック状態 オーバーレイキーで、キーの前面右側に印刷された数字などの文字が入力できます。

それぞれの文字入力状態を解除するには、切り替えキーをもう1度押します。

### 3 キーを使った便利な機能

各キーにはさまざまな機能が用意されています。いくつかのキーを組み合わせると、いろいろな操作が実行できます。

#### 【Fnキーを使った特殊機能キー】

キー	内容
(Fn)+(Esc) 〈スピーカのミュート〉	内蔵スピーカやヘッドホンの音量をミュート（消音）にします。元に戻すときは、もう1度(Fn)+(Esc)キーを押します。
(Fn)+(F1) 〈インスタント セキュリティ機能〉	画面右上にカギアイコンが表示された後、画面表示がオフになります。 解除するには、次の操作を行ってください。 ① (Shift)キーや(Ctrl)キーを押す、またはタッチパッドを操作する 複数のユーザで使用している場合は、ユーザ選択画面が表示されますので、ログオンするユーザ名をクリックしてください。 ② Windows のログオンパスワードを設定している場合は、パスワード入力画面に Windows のログオンパスワードを入力し、(Enter)キーを押す パスワードによる保護を設定（[画面のプロパティ] の [スクリーンセーバー] タブで、[パスワードによる保護] または [再開時よろこば画面に戻る] をチェック）しておくこと、セキュリティを強化できます。
(Fn)+(F2) 〈省電力モードの設定〉	(Fn)+(F2)キーを押すと、設定されている「東芝省電力ユーティリティ」の省電力モードが表示されます。 (Fn)キーを押したまま、(F2)キーを押すたびに省電力モードが切り替わります。
(Fn)+(F3) 〈スタンバイ機能の実行〉	(Fn)+(F3)キーを押し、表示される画面で [はい] ボタンをクリックするとスタンバイ機能が実行されます*1。
(Fn)+(F4) 〈休止状態の実行〉	(Fn)+(F4)キーを押し、表示される画面で [はい] ボタンをクリックすると休止状態が実行されます*1。
(Fn)+(F5) 〈表示装置の切り替え〉	表示装置を切り替えます。 詳細について  「4章 4 テレビを接続する」

キー	内容
(Fn)+(F6) 〈内部液晶ディスプレイの輝度を下げる〉	(Fn)キーを押したまま、(F6)キーを押すたびに内部液晶ディスプレイの輝度が1段階ずつ下がります。表示される画面のアイコンで輝度の状態を確認できます*2。
(Fn)+(F7) 〈内部液晶ディスプレイの輝度を上げる〉	(Fn)キーを押したまま、(F7)キーを押すたびに内部液晶ディスプレイの輝度が1段階ずつ上がります。表示される画面のアイコンで輝度の状態を確認できます*2。
(Fn)+(F9) 〈タッチパッドオン/オフ機能〉	タッチパッドからの入力を無効にできます。再び有効にするには、もう1度(Fn)+(F9)キーを押します。 参照▶ 「本章 4-3 タッチパッドを無効/有効にするには」
(Fn)+(F10) 〈オーバーレイ機能〉	キー前面左に灰色で印刷された、カーソル制御キーとして使用できます (アロー状態)。アロー状態を解除するには、もう1度(Fn)+(F10)キーを押します。
(Fn)+(F11) 〈オーバーレイ機能〉	キー前面右に灰色で印刷された、数字などの文字を入力できます (数字ロック状態)。数字ロック状態を解除するには、もう1度(Fn)+(F11)キーを押します。 アプリケーション (Microsoft Excel など) によっては異なる場合があります。
(Fn)+(F12) 〈スクロールロック状態〉	一部のアプリケーションで(↑)(↓)(←)(→)キーを画面スクロールとして使用できます。ロック状態を解除するには、もう1度(Fn)+(F12)キーを押します。
(Fn)+(↑) 〈PgUp (ページアップ)〉	一般的なアプリケーションで、(Fn)キーを押したまま、(↑)キーを押すと、前のページに移動できます。
(Fn)+(↓) 〈PgDn (ページダウン)〉	一般的なアプリケーションで、(Fn)キーを押したまま、(↓)キーを押すと、次のページに移動できます。
(Fn)+(←) 〈Home (ホーム)〉	一般的なアプリケーションで、(Fn)キーを押したまま、(←)キーを押すと、カーソルが行または文書の最初に移動します。
(Fn)+(→) 〈End (エンド)〉	一般的なアプリケーションで、(Fn)キーを押したまま、(→)キーを押すと、カーソルが行または文書の最後に移動します。

\* 1 表示される画面で [今後、このメッセージを表示しない] をチェックすると、次回以降メッセージ画面は表示されません。

\* 2 液晶ディスプレイの点灯直後は、約 18 秒間、輝度の変更はできません。その間、液晶ディスプレイの点灯を安定させるため、自動的に最高輝度となります。

## 【 Windows キーを使ったショートカットキー 】

キー	操作
Windows + (R)	[ファイル名を指定して実行] 画面を表示する
Windows + (M)	すべての画面を最小化する
(Shift) + Windows + (M)	最小化されたすべての画面を元に戻す
Windows + (F1)	『ヘルプとサポート』を起動する
Windows + (E)	[マイコンピュータ] 画面を表示する
Windows + (F)	ファイルまたはフォルダを検索する
(Ctrl) + Windows + (F)	他のコンピュータを検索する
Windows + (Tab)	タスクバーのボタンを順番に切り替える
Windows + (Break)	[システムのプロパティ] 画面を表示する

## 【 特殊機能キー 】

特殊機能	キー	操作
タスクマネージャの 起動	(Ctrl) + (Alt) + (Del)	[Windows タスクマネージャ] 画面が表示されます。 アプリケーションやシステムの強制終了を行います。
画面コピー	(PrtSc)	現在表示中の画面をクリップボードにコピーします。
	(Alt) + (PrtSc)	現在表示中のアクティブな画面をクリップボードにコピーします。

---

## キーボードの取り扱いと手入れ

柔らかい乾いた素材のきれいな布で拭いてください。

汚れがひどいときは、水に浸した布を固くしぼって拭きます。

キーのすきまにゴミが入ったときは、エアーで吹き飛ばすタイプのクリーナーで取り除きます。ゴミが取れないときは、使用している機種名を確認してから、購入店、または保守サービスに相談してください。

コーヒーなど飲み物をこぼしたときは、ただちに電源を切り、ACアダプタとバッテリーパックを取りはずして、購入店、または保守サービスに相談してください。

---

# 4 タッチパッドとマウス

タッチパッドとマウスを、使いやすく設定できます。

## 1) タッチパッドを設定するには

タッチパッドやポインタの設定は、[マウスのプロパティ]で行います。

### 1 【マウスのプロパティ】の起動方法

- 1 [コントロールパネル]を開き、[  プリンタとその他のハードウェア ] をクリックする
- 2 [  マウス ] をクリックする  
[マウスのプロパティ] 画面が表示されます。



画面は、マウス接続時の表示例です。

- 3 各タブで機能を設定し、[OK] ボタンをクリックする  
各機能の設定については、本節の以降の説明を参照してください。  
[キャンセル] ボタンをクリックした場合は、設定が変更されません。

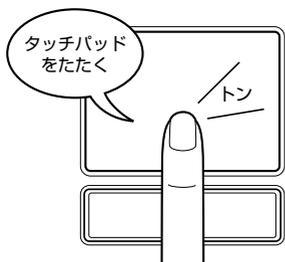
## 2) タッピング機能

タッチパッドを指で軽くたたくことをタッピングといいます。  
タッピング機能を使うと、左ボタンを使わなくても、次のような基本的な操作ができます。

### 1 タッピングの方法

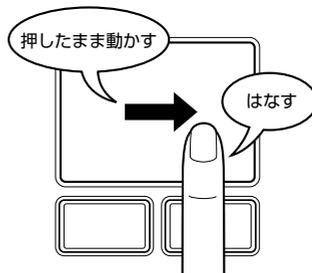
#### 【クリック/ダブルクリック】

タッチパッドを1回軽くたたくとクリック、2回軽くたたくとダブルクリックができます。



#### 【ドラッグアンドドロップ】

タッチパッドを続けて2回たたき、2回目はタッチパッドから指を離さずに目的の位置まで移動し、指を離します。



参照 → 関連情報は

『基本をマスター 1章 1 タッチパッド/マウスとCD/DVD』

## 3) タッチパッドを無効/有効にするには

[タッチパッド ON/OFF] タブでは、タッチパッドによる操作を無効にしたり、有効にしたりすることができます。



## 【タッチパッドのON/OFF】

[有効] をチェックするとタッチパッドが使用可能になり、[無効] をチェックするとタッチパッドからの操作ができなくなります。

タッチパッドの無効/有効は、(Fn)+(F9)キーでも切り替えることができます。

(Fn)+(F9)キーでタッチパッドの操作を有効にした場合、タッチパッドの操作中にカーソルの動きが不安定になることがあります。そのような場合は、1度タッチパッドから手を離してください。しばらくすると、正常に操作できるようになります。

## 4 マウスの設定

マウスのボタンやホイールなどの設定もできます。

本製品には、USB マウスが同梱されています。接続方法は「4章 3 USB 対応機器を接続する」を参照してください。

マウスの使用方法是『基本をマスター 1章 1-② マウス』を参照してください。

### 1 マウスの設定を変更する

[ボタン] タブで設定します。



ボタンの構成	マウスの右ボタンと左ボタンの役割を入れ換えます。
ダブルクリックの速度	スライダーバーを動かして、ダブルクリックするときの速度を調整します。
クリックロック	マウスのボタンを押したままにしなくても、ドラッグできるようにします。

## 2 ホイールの設定を変更する

[ホイール] タブで設定します。



マウスのホイールを1目盛り動かした際に、どれだけ画面をスクロールさせるかを設定します。

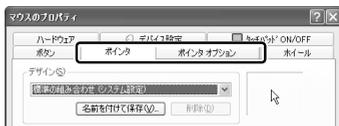
1 度に次の行数スクロールする	設定した数字の行数分だけスクロールします。
1 画面ずつスクロールする	チェック (☑) すると、1 画面ずつスクロールします。

### 役立つ 操作集

#### ポインタの形や速度を変える

[マウスのプロパティ] では、ポインタの形や速さなどを変えることができます。

[ポインタ] タブでは形を、[ポインタオプション] タブでは速さとポインタを動かしたときの軌跡などを設定できます。



### ヘルプの起動方法

- 1 [マウスのプロパティ] 画面を起動後、画面右上の **?** をクリックする  
ポインタが **?** に変わります。
- 2 画面上の知りたい項目にポインタを置き、クリックする

# 5 ディスプレイ

本製品には表示装置として TFT 方式カラー液晶ディスプレイ（1024 × 768 ドット）が内蔵されています。ドットは点の数を表します。テレビと同じようにブラウン管を発光させて表示する、CRT ディスプレイを接続して使用することもできます。

参照 → CRT ディスプレイの接続について  
[4 章 5 CRT ディスプレイを接続する]

## 表示について

TFT 方式のカラー液晶ディスプレイは非常に高精度な技術を駆使して作られています。非点灯、常時点灯などの表示が存在することがありますが、故障ではありませんので、あらかじめご了承ください。

## 1 ディスプレイの設定

このパソコンのディスプレイは、色や壁紙など、さまざまな表示を設定できます。

### 1 表示可能色数

設定した解像度によって、次にあげる色数まで表示できます。

1600 × 1200 ドット	65,536 色
1280 × 1024 ドット	65,536 色
1024 × 768 ドット	1,677 万色
800 × 600 ドット	1,677 万色

1280 × 1024 ドット以上は仮想スクリーン表示になります。

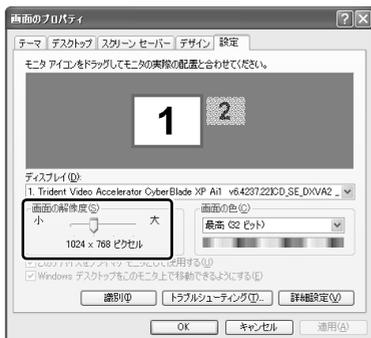
### メモ

1,677 万色はディザリング表示です。  
ディザリングとは、1 ピクセル（画像表示の単位）では表現できない色（輝度）の階調を、数ピクセルの組み合わせによって表現する方法です。

## 2 解像度を変更する

解像度を変更すると、画面上のアイコン、テキスト、その他の項目が大きく、または小さく表示されます。

- 1 [コントロールパネル] を開き、[  デスクトップの表示とテーマ ] をクリック→ [  画面 ] をクリックする  
[画面のプロパティ] 画面が表示されます。
- 2 [設定] タブの [画面の解像度] で、解像度を変更する



- 3 [OK] ボタンをクリックする

## 2 時間帯で壁紙を変える

「くるくる壁紙チェンジャー」を使って、デスクトップの壁紙を時間帯に応じて自動的に切り替えられます。また記念日や予定のある日には、イベントアイコンをデスクトップに表示できます。

### 1 壁紙を変える

「くるくる壁紙チェンジャー」を使用するには、あらかじめ次の設定を行ってください。

- 1 [コントロールパネル] を開き、[  デスクトップの表示とテーマ ] をクリックする
- 2 [デスクトップの背景を変更する] をクリックする  
[画面のプロパティ] 画面が表示されます。
- 3 [デスクトップ] タブで [参照] ボタンをクリックする
- 4 [マイドキュメント] をクリックする

## 5 [dynabookFun 壁紙] をクリックし①、[開く] ボタンをクリックする②



## 6 [画面のプロパティ] 画面で [OK] ボタンをクリックする

【用意されている壁紙から選択する】

- 1 [スタート] → [すべてのプログラム] → [くるくる壁紙チェンジャー] をクリックする
- 2 [時間帯モード] タブで設定する時間帯を選択する



切り替える時間を設定するときは  
▲▼ ボタンをクリックします。

設定したい時間帯の枠をクリックします。  
枠の線が太く、明るい赤になります。

### 3 [壁紙の種類] で壁紙の種類を選択し①、[お気に入りの壁紙を選択してください] から壁紙を選択する②



①の「壁紙の種類」で「ファンシー」「エレガント」「フォト」をクリックすると、②の「お気に入りの壁紙を選択してください」に表示される壁紙のサンプルが変わります。

「ランダム」ボタンをクリックすると、「お気に入りの壁紙を選択してください」に表示される壁紙のサンプルの中からランダムに切り替えます。

選択された画像は上の赤い枠内に表示されます。

**参照** → 「お気に入り」をクリックした場合  
「本項-お気に入りの画像を壁紙に設定する」

手順2と3を繰り返し、それぞれの時間帯の時間の設定と壁紙の選択をしてください。

### 4 [OK] ボタンをクリックする

#### 【お気に入りの画像を壁紙に設定する】

#### 1 お気に入りの画像ファイルを【マイ ピクチャ】フォルダの【くるくるお気に入り】フォルダにコピーする

壁紙として選択できるファイル形式は、JPEG、GIF、BMPです。

#### 2 [スタート] → [すべてのプログラム] → [くるくる壁紙チェンジャー] をクリックする

#### 3 [時間帯モード] タブで設定する時間帯を選択する

## 4 [壁紙の種類] で [お気に入り] をクリックする



## 5 ◀ ▶ ボタンで画像を選択する①



①  
選択された画像は選択した時間帯の赤い枠内に表示されます。

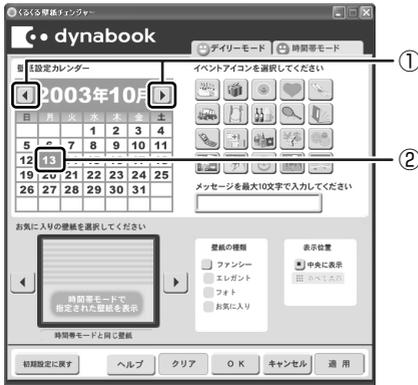
## 6 [OK] ボタンをクリックする

## 2 イベントアイコンを表示する

誕生日や旅行の予定など、スケジュール帳のようにその日のイベントがわかるアイコンを表示することができます。

## 1 [スタート] → [すべてのプログラム] → [くるくる壁紙チェンジャー] をクリックする

## 2 [デイリーモード] タブで [壁紙設定カレンダー] から年月を選択し ①、日付を選択する②



## 3 イベントアイコンを選択し、メッセージを入力する

メッセージは全角で10文字まで入力できます。

イベントアイコンを表示する日の壁紙を設定する場合は手順4へ進んでください。

[時間帯モード] タブで設定した壁紙と同じ壁紙にイベントアイコンを表示する場合は手順5へ進んでください。

## 4 [壁紙の種類] で壁紙の種類を選択し①、◀ ▶ ボタンで壁紙を選択する②



選択した壁紙のサイズが画面サイズより小さい場合は、[表示位置] で [並べて表示] を選択すると同じ画像を並べて表示することができます。

## メモ

- 設定できるイベント数は1日1件、最大50日です。
- 手順4で「並べて表示」を選択した場合、「お気に入りの壁紙を選択してください」では4分割に表示されますが、実際の表示とは異なります。

## 5 [OK] ボタンをクリックする

**3 初期設定に戻す**

それぞれのタブの「初期設定に戻す」ボタンを使うと、購入時の設定に戻ります。

- 1 [スタート] → [すべてのプログラム] → [くるくる壁紙チェンジャー] をクリックする
- 2 初期設定に戻すタブを選択し、[初期設定に戻す] ボタンをクリックする

## メモ

「マイドキュメント」フォルダのファイル「dynabookFun壁紙.html」は削除しないでください。削除すると、次に起動したときに壁紙やイベントアイコンのすべての設定が無効になります。誤ってファイルを削除したときは、「くるくる壁紙チェンジャー」を起動して [OK] ボタンをクリックすると「dynabookFun壁紙.html」が作成され、設定が有効になります。

**ヘルプの起動方法**

- 1 「くるくる壁紙チェンジャー」を起動後、[ヘルプ] ボタンをクリックする

---

## 液晶ディスプレイの取り扱い

### 画面の手入れ

- 画面の表面には偏光フィルムが貼られています。このフィルムは傷つきやすいので、むやみに触れないでください。  
表面が汚れた場合は、柔らかくきれいな布で拭き取ってください。水や中性洗剤、揮発性の有機溶剤、化学ぞうきんなどは使用しないでください。
- 無理な力の加わる扱いかた、使いかたをしないでください。  
液晶ディスプレイは、ガラス板間に液晶を配向処理して注入してあります。強い力を加えると配向が乱れ、発色や明るさが変わって元に戻らなくなる場合があります。また、ガラス板を破損するおそれもあります。
- 水滴などが長時間付着すると、変色やシミの原因になるので、すぐに拭き取ってください。

### バックライト用蛍光管について

液晶ディスプレイに表示されている内容を見るためにバックライト用蛍光管が内蔵されています。バックライト用蛍光管は、消耗品となります。使用するにつれて発光量が徐々に減少し、表示画面が暗くなります。表示画面が見づらくなったときは、使用している機種を確認後、購入店、または保守サービスに相談してください。

---

# 6 ハードディスクドライブ

内蔵されているハードディスクドライブは、取りはずしできません。

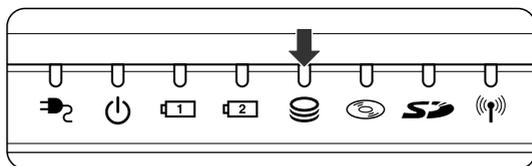
PCカードタイプ（TYPE II）のハードディスクなどを使用して記憶容量を増やすことができます。

## お願い 操作にあたって

- Disk  LEDが点灯中は、パソコン本体を動かしたりしないでください。ハードディスクドライブが故障したり、データが消失するおそれがあります。
- ハードディスクに保存しているデータや重要な文書などは、万一故障が起こったり、変化／消失した場合に備えて、定期的にフロッピーディスクやCD／DVDなどに保存しておいてください。記憶内容の変化／消失など、ハードディスク、フロッピーディスク、CD／DVDなどに保存した内容の損害については、当社は一切その責任を負いませんので、あらかじめご承知ください。
- 磁石、スピーカ、テレビ、磁気プレスレットなど磁気を発するものの近くに置かないでください。記憶内容が変化／消失するおそれがあります。
- パソコン本体を落とす、ぶつけるなど強い衝撃を与えないでください。ハードディスクの磁性面に傷が付いて、使えなくなることがあります。磁性面に付いた傷の修理はできません。

## ハードディスクドライブに関する表示

内蔵のハードディスクとデータをやり取りしているときは、Disk  LEDが点灯します。



PCカードタイプやi.LINK（IEEE1394）対応機器（1394モデルのみ）などの増設ハードディスクとのデータのやり取りでは、Disk  LEDは点灯しません。

ハードディスクに記録された内容は、故障や損害の原因にかかわらず保証できません。万一故障した場合に備え、バックアップをとることを推奨します。

# 7 サウンド機能

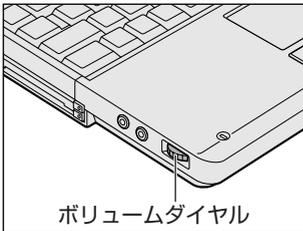
本製品はサウンド機能を内蔵し、スピーカがついています。

## 1) スピーカの音量を調整する

標準で音声、サウンド関係のアプリケーションがインストールされています。スピーカの音量は、ボリュームダイヤル、またはWindowsのボリュームコントロールで調整できます。

### 1 ボリュームダイヤルで調整する

音量を大きくしたいときには奥に、小さくしたいときには手前に回します。



### 2 ボリュームコントロールで調整する

再生したいファイルごとに音量を調節したい場合、次の方法で調節できます。

1 [スタート] → [すべてのプログラム] → [アクセサリ] → [エンターテイメント] → [ボリュームコントロール] をクリックする

2 それぞれのつまみを上下にドラッグして調整する

つまみを上にするるとスピーカの音量が上がります。[ミュート] をチェックすると消音となります。



## 【音楽／音声を再生するとき】

ボリュームコントロールの各項目では次の音量が調整できます。

マスタ音量	全体の音量を調整する
WAVE	MP3 ファイル、Wave ファイル、音楽 CD (BeatJam、Windows Media Player の場合)、DVD-Video など
CD オーディオ	音楽 CD (BeatJam、Windows Media Player 以外の場合)

また、使用するアプリケーションにより異なる場合があります。詳しくは『アプリケーションに付属の説明書』または『ボリュームコントロールのヘルプ』を確認してください。

## 2 音楽／音声の録音レベルを調整する

録音レベルの調整は、次のように行います。

## 1 パソコン上で録音するとき

- 1 [スタート] → [すべてのプログラム] → [アクセサリ] → [エンターテイメント] → [ボリュームコントロール] をクリックする
- 2 メニューバーの [オプション] → [プロパティ] をクリックする
- 3 [音量の調整] で [録音] をチェックする
- 4 [表示するコントロール] で表示項目を確認する  
[マイク] がチェックされていることを確認します。
- 5 [OK] ボタンをクリックする
- 6 [録音コントロール] 画面で、使用するデバイスの [選択] をチェックする  
[マイク] : 外部マイクから録音するとき
- 7 選択したデバイスのつまみで音量を調節する  
同時に 2 つのデバイスを選択することはできません。  
録音したい音楽／音声がボリュームコントロールの [WAVE] 対応の場合、録音するときも [WAVE] の音量により影響を受けます。

# 8 マルチドライブ

本製品には、マルチドライブが1台内蔵されています。

マルチドライブは、CD-R/RWドライブとDVD-ROMドライブ両方の機能を持ちます。『安心してお使いいただくために』に、CD/DVDを使用するとき守ってほしいことが記述されています。

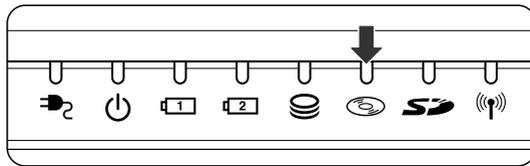
CD/DVDを使用する場合は、あらかじめその記述をよく読んで、必ず指示を守ってください。

## お願い DVD-Videoの再生にあたって

- DVD-Video再生時は、なるべくACアダプタを接続してください。省電力機能が働くと、スムーズな再生ができない場合があります。バッテリー駆動で再生する場合は「東芝省電力ユーティリティ」で「DVD再生」モードに設定してください。
- 使用するDVDディスクのタイトルによっては、コマ落ちしたり、マルチアングルシーンで一時的に再生が停止できない場合があります。

## マルチドライブに関する表示

パソコン本体の電源が入っている場合、マルチドライブが動作しているときは、CD-ROM LEDが点灯します。



## 1 使用できるメディアと対応するアプリケーション

### 【使用できるメディア】

○：使用できる ×：使用できない

	CD-R	CD-RW	DVD-R	DVD-RW	DVD-RAM	DVD+R	DVD+RW
読み出し	○	○	○*1	○*1	○*1	×	×
書き込み回数	1回	繰り返し書換可能*2	×	×	×	×	×

\*1 使用するメディアによっては、読み出しができない場合があります。

\*2 実際に書き換える回数は、メディアの状態や書き込み方法により異なります。

CD-R、CD-RWには本製品に付属の「Drag'n Drop CD+DVD」で書き込みができます。

## 2) 使用できる CD

読み出しできる CD は、次の種類です。

- 音楽用 CD  
8cm または 12cm の音楽用 CD が聴けます。
- フォト CD  
普通のカメラで撮影した写真の画像をデジタル化して記録したものです。
- CD-ROM  
使用するシステムに適合する ISO 9660 フォーマットのものを使用できます。
- CD エクストラ  
記録領域は音楽データ用とパソコンのデータ用に分けられています。それぞれの再生装置で再生できます。
- CD-R
- CD-RW

書き込みできる CD は、次の種類です。

- CD-R  
書き込みは 1 回限りです。書き込まれたデータの削除・変更はできません。  
CD-R の書き込み速度は最大 24 倍速です。最大の倍速で書き込むためには書き込み速度に対応した CD-R メディアを使用してください。
- CD-RW  
CD-RW の書き込み速度は使用するメディアによって異なります。  
マルチスピード CD-RW メディア : 最大 4 倍速  
High-Speed CD-RW メディア : 最大 10 倍速  
Ultra Speed CD-RW メディア : 最大 24 倍速

### お願い CD-RW、CD-R について

- CD-RW、CD-R に書き込む際には、次のメーカーの CD-RW、CD-R を使用することを推奨します。  
CD-RW (マルチスピード、High-Speed)  
: 三菱化学 (株)、(株) リコー  
CD-RW (Ultra Speed)  
: 三菱化学 (株)  
CD-R : 太陽誘電 (株)、三井化学 (株)、三菱化学 (株)、(株) リコー、日立マクセル (株)  
これらのメーカー以外の CD-RW、CD-R を使用すると、うまく書き込みができない場合があります。

- CD-R に書き込んだデータの消去はできません。
- CD-RW の消去されたデータを復元することはできません。消去の際は、メディアの内容を十分に確認してから行ってください。
- 書き込み可能なドライブが複数台接続されている際には、書き込み・消去するメディアをセットしたドライブを間違えないよう十分に注意してください。
- ハードディスクに不良セクタがあると書き込みに失敗するおそれがあります。定期的に「エラーチェック」でクラスタのチェックを行うことをおすすめします。

参照▶ エラーチェック《サイバーサポート》

- ドライブの構造上、メディアの傷、汚れ、ホコリ、チリなどにより読み出し／書き込みができなくなる場合があります。CD-RW、CD-R にデータなどを書き込む際は、メディアの状態をよくご確認ください。

### 3) 使用できる DVD

読み出しできる DVD は、次の種類です。

- DVD-ROM    ● DVD-Video (映像再生用です。映画などが収録されています)
- DVD-R        ● DVD-RW        ● DVD-RAM

#### 【 DVD-RAM の種類 】

DVD-RAM にはいくつかの種類があります。本製品で使用できる DVD-RAM は次のとおりです。

カートリッジタイプのメディアは、カートリッジから取り出してドライブにセットしてください。両面ディスクで読み出しする面を変更するときは、1 度ドライブからメディアを取り出し、裏返してセットし直してください。

○：使用できる    ×：使用できない

DVD-RAM の種類	本製品の対応
カートリッジなし*1	○
カートリッジタイプ (取り出し不可)	×
カートリッジタイプ (取り出し可能)*2	○

\* 1 一部の家庭用 DVD ビデオレコーダでは再生できない場合があります。

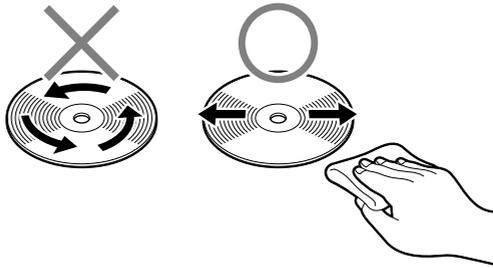
\* 2 2.6GB、5.2GB のディスクは使用できません。

## CD / DVD の取り扱いと手入れ

CD / DVD の内容は故障の原因にかかわらず保障いたしかねます。製品を長持ちさせ、データを保護するためにも、次のことを必ず守ってください。

- 傷、汚れをつけないよう、取り扱いには十分にご注意ください。
- CD / DVD を折り曲げたり、表面を傷つけたりしないでください。CD / DVD を読み込むことができなくなります。
- CD / DVD を直射日光が当たるところや、極端に暑かったり寒かったりする場所に置かないでください。また、CD / DVD の上に重いものを置かないでください。
- CD / DVD は専用のケースに入れ、清潔に保護してください。
- CD / DVD を持つときは、外側の端か、中央の穴のところを持つようにしてください。データ記憶面に指紋をつけてしまうと、正確にデータが読み取れなくなることがあります。
- CD / DVD のデータ記憶面に文字などを書かないでください。
- CD / DVD が汚れたりホコリをかぶったりしたときは、乾燥した清潔な布で拭き取ってください。

円盤に沿って環状に拭くのではなく、円盤の中心から外側に向かって直線状に拭くようにしてください。乾燥した布では拭き取れない場合は、水か中性洗剤で湿らせた布を使用してください。ベンジンやシンナーなどの薬品は使用しないでください。



# 9 SD メモリカード

SD メモリカードを SD メモリカードスロットに差し込んで、データの読み出しや書き込みができます。

## 1 SD メモリカードについて

SD メモリカードについて説明します。

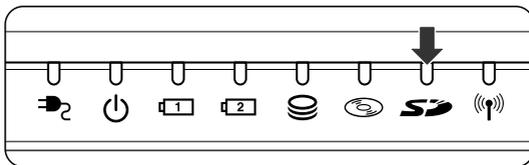
本製品の SD メモリカードスロットでは、マルチメディアカードは使用できません。

### お願い SD メモリカードの使用にあたって

- SD メモリカードは、SDMI の取り決めに従って、デジタル音楽データの不正なコピーや再生を防ぐための著作権保護技術を搭載しています。そのため、他のパソコンなどで取り込んだデータが著作権保護されている場合は、本製品でコピー、再生することはできません。SDMI とは Secure Digital Music Initiative の略で、デジタル音楽データの著作権を守るための技術仕様を決めるための団体のことです。
- あなたが記録したものは、個人として楽しむなどのほかは、著作権法上、権利者に無断で使用できません。
- SD メモリカードは、デジタル音楽データの不正なコピーや再生を防ぐ SDMI に準拠したデータを取り扱うことができます。メモリの一部を管理データ領域として使用するため、使用できるメモリ容量は表示の容量より少なくなっています。

## 1 SDメモリカードスロットに関する表示

パソコン本体に電源が入っている場合、SD メモリカードとデータをやり取りしているときは、SD Card LED が点灯します。



## 2) SDメモ리카ードのセットと取り出し

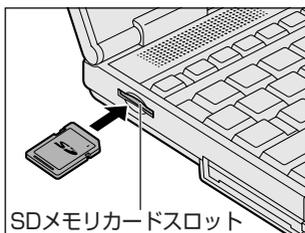
SDメモ리카ードをSDメモ리카ードスロットに挿入することを「SDメモ리카ードをセットする」といいます。

### お願い

- SD Card LED が点灯中は、電源を切ったり、SDメモ리카ードを取り出したり、パソコン本体を動かしたりしないでください。データやSDメモ리카ードが壊れるおそれがあります。
- SDメモ리카ードは無理な力を加えず、静かに挿入してください。正しく挿し込まれていない場合、パソコンの動作が不安定になったり、SDメモ리카ードのデータが壊れるおそれがあります。

## 1 セット

### 1 SDメモ리카ードのラベルを貼られた面を上にして、SDメモ리카ードスロットに挿入する



奥まで挿入します。

## 2 取り出し

### 1 SDメモ리카ードの使用を停止する

- ① 通知領域の [ハードウェアの安全な取り外し] アイコン (  ) をクリックする
- ② 表示されたメニューから [TOSHIBA SD Memory Card Drive- ドライブ (E:) を安全に取り外します] (標準値) をクリックする
- ③ 「安全に取り外すことができます」のメッセージが表示されたら、[閉じる] ボタン (  ) をクリックする

### 2 SDメモ리카ードを押す

カードが少し出てきます。そのまま手で取り出します。

### 3 SDメモ리카ードの内容を見る

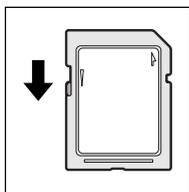
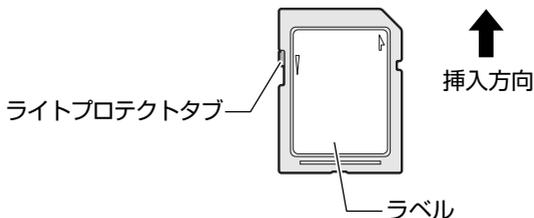
著作権保護を必要としない画像や音声、テキストなどの一般的なファイルは、次の手順で見ることができます。

- 1 [スタート] → [マイコンピュータ] をクリックする  
[マイコンピュータ] 画面が表示されます。
- 2 [リムーバブルディスク (E:)] (標準値) をダブルクリックする  
セットしたSDメモ리카ードの内容が表示されます。

## 3 SDメモ리카ードを使う前に

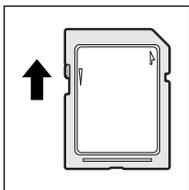
### 1 ライトプロテクトタブ

SDメモ리카ードは、ライトプロテクトタブを移動することにより、誤ってデータを消したりしないようにできます。



#### 書き込み禁止状態

ライトプロテクトタブを挿入とは反対の方向へ移動させます。この状態のSDメモ리카ードには、データの書き込みはできません。データの読み取りはできます。



#### 書き込み可能状態

ライトプロテクトタブを挿入と同じ方向へ移動させます。この状態のSDメモ리카ードには、データの書き込みも読み取りもできます。

## 2 SDメモ리카ードのフォーマット

フォーマットとは、SDメモ리카ードにトラック番号やヘッド番号などの基本情報を書き込み、SDメモ리카ードを使えるようにすることです。

新品のSDメモ리카ードは、SDメモ리카ードの規格にあわせてフォーマットされた状態で販売されています。

再フォーマットをする場合は、「東芝SDメモ리카ードフォーマット」またはSDメモ리카ードを使用する機器（デジタルカメラやオーディオプレーヤなど）で行ってください。

SDメモ리카ードを使用する機器でのフォーマット方法については、『使用する機器に付属の説明書またはヘルプ』を確認してください。

### お願い

- Windows 上（[マイコンピュータ] 画面）でSDメモ리카ードのフォーマットを行わないでください。デジタルカメラやオーディオプレーヤなど他の機器で使用できなくなる場合があります。
- 再フォーマットを行うと、そのSDメモ리카ードに保存されていた情報はすべて消去されます。1度使用したSDメモ리카ードを再フォーマットする場合は注意してください。

## 東芝SDメモ리카ードフォーマットを使ってフォーマットする

ここでは「東芝SDカードユーティリティ」の「東芝SDメモ리카ードフォーマット」を使用してフォーマットする方法を説明します。

### お願い

「東芝SDメモ리카ードフォーマット」以外の、SDメモ리카ードを使用するアプリケーションはあらかじめ終了させてください。

### 1 SDメモ리카ードをセットする

 **参照** SDメモ리카ードのセットについて  
「本節 ② SDメモ리카ードのセットと取り出し」

- 2 [スタート] → [すべてのプログラム] → [東芝SDカードユーティリティ] → [東芝SDメモ리카ードフォーマット] をクリックする  
[東芝SDメモ리카ードフォーマット] 画面が表示されます。

- 3 [ドライブ] で、フォーマットしたいSDメモリーカードがセットされているドライブを確認し、必要に応じて [フォーマットオプション] でフォーマットの種類を設定する



- 簡易フォーマット  
ファイルの削除のみを行い、すべての領域の初期化は行われません。
- 完全フォーマット  
SDメモリーカードのすべての領域を初期化します。簡易フォーマットに比べて、フォーマットに時間がかかります。

4 [スタート] ボタンをクリックする

メッセージが表示されます。

5 メッセージの内容を確認し、[OK] ボタンをクリックする

フォーマットが開始されます。

画面下のバーは進行状況を示しています。

フォーマットが完了すると、メッセージが表示されます。

6 メッセージの内容を確認し、[OK] ボタンをクリックする

これで、フォーマットは完了です。

フォーマットを終了する場合は、[終了] ボタンをクリックしてください。

## SD メモリカードの取り扱い

SD メモリカードを取り扱うときには、次のことを守ってください。

- SD メモリカードに保存しているデータは、万一故障が起こったり、消失した場合に備えて、定期的に複製を作って保管するようにしてください。  
SD メモリカードに保存した内容の障害については、当社は一切その責任を負いませんので、あらかじめご了承ください。
- SD メモリカードの接触面（コンタクトエリア）を触らないでください。  
ごみや異物が付着したり、汚れると使用できなくなります。
- 強い静電気、電氣的ノイズの発生しやすい環境での使用、保管をしないでください。  
記録した内容が消えるおそれがあります。
- 高温多湿の場所、また腐食性のある場所での使用、保管をしないでください。
- 持ち運びや保管の際は、SD メモリカードに付属のケースに入れてください。
- SD メモリカードが汚れたときは、乾いた柔らかい素材の布で拭いてください。
- 新たにラベルやシールを貼らないでください。

# 10 ワンタッチボタン

本製品には、簡単にインターネットブラウザソフトやメールソフトを起動することができる、3つのワンタッチボタンがあります。

各ボタンを押すと設定されているアプリケーションが起動します。

起動するアプリケーションは、「東芝コントロール」で自由に変更できます。購入時に各ボタンに設定されているアプリケーションは次のとおりです。

- インターネットボタン ..... Internet Explorer
- メールボタン ..... Microsoft Outlook (Office 搭載モデルの場合) または Outlook Express
- サイバーサポートボタン ..... サイバーサポート

## 【パソコン本体の電源が入っていないとき】

電源が入り、Windows 起動後、設定されているアプリケーションが起動します。

## 【スタンバイ状態／休止状態のとき】

スタンバイ状態／休止状態を実行する直前の状態が再現されてから、設定されているアプリケーションが起動します。

## 1 ボタンを割り当てるアプリケーションを変更する

各ボタンを押して起動するアプリケーションを、自由に設定することができます。

- 1 [コントロールパネル] を開き、[  プリンタとその他のハードウェア ] をクリックする
- 2 [  東芝コントロール ] をクリックする  
[東芝コントロールのプロパティ] 画面が表示されます。
- 3 変更するボタン名の下 [  ] ボタンをクリックする



アプリケーションの一覧が表示されます。

- 4 アプリケーションを選択して、[OK] ボタンをクリックする

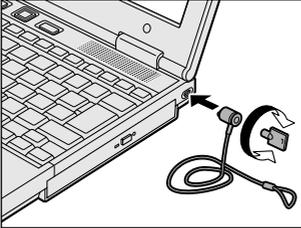
# 11 セキュリティロック

セキュリティロック・スロットに、チェーンなどを接続して、盗難を防止します。

セキュリティロック用の機器については、本製品に対応のものかどうかを、購入店に確認してください。

## 1 セキュリティロック用機器の取り付け

- 1 セキュリティロック・スロットに市販のセキュリティロック用の機器を接続する





## 2章

# 音楽と映像

音楽と映像を本製品で楽しむ方法について説明しています。

パソコンで音楽を聴く。それをCDに書き込んでオリジナルを作成する。写真やDVD-Videoの映像を観る。写真を編集して個人コレクションを作るなど。パソコンの楽しみかたを紹介します。

---

1	音楽CDを聴く	58
2	音楽ファイルを聴く	62
3	オリジナル音楽CDを作る	69
4	DVD-Videoを観る	74
5	デジタルカメラの写真を編集／整理する	80
6	映像を編集する	83

# 1 音楽 CD を聴く

本製品では音楽 CD を聴くことができます。

## メモ

音楽 CD の再生中に、パソコン本体に振動・衝撃を与えると、音飛びすることがあります。

音楽 CD を再生するためには、音楽 CD に対応したアプリケーションが必要です。本製品には次のアプリケーションがインストールされています。

- BeatJam ビートジャム
- Windows Media Player ウィンドウズ メディア プレーヤ

## 1 起動方法

### 1 Windows が起動している状態で、音楽 CD をセットする

[Audio CD (D:)] 画面が表示されます。

**参照** → CD のセットについて『基本をマスター 1 章 1-③ CD / DVD』

[Audio CD (D:)] 画面が表示されない場合は、[マイ コンピュータ] で (D:) ドライブを右クリックし、[自動再生] をクリックしてください。

### 2 使用するアプリケーションを選択し、[OK] ボタンをクリックする

使用するアプリケーションが「BeatJam」の場合は [オーディオ CD の再生 BeatJam 使用]、「Windows Media Player」の場合は [オーディオ CD を再生します Windows Media Player 使用] を選択してください。選択したアプリケーションが起動します。

「BeatJam」を起動したいのに [Audio CD (D:)] 画面に [オーディオ CD の再生 BeatJam 使用] が表示されない場合は、[閉じる] ボタン (  ) をクリックして画面を終了し、[スタート] → [すべてのプログラム] → [JUSTSYSTEM アプリケーション] → [BeatJam] → [BeatJam] をクリックして起動してください。

次回から [Audio CD (D:)] 画面に [オーディオ CD の再生 BeatJam 使用] が表示されるように、「BeatJam」で設定できます。

**参照** → 設定方法『困ったときは 3 章 Q BeatJam が起動できない』

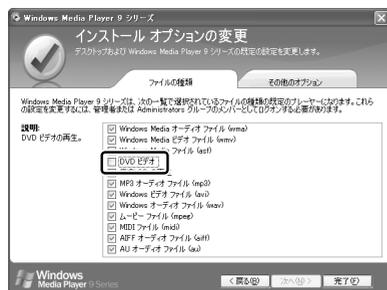
## BeatJam を初めて起動したとき

初めて起動したときは、[使用許諾契約の確認] 画面が表示されます。契約内容を読んで、[同意する] ボタンをクリックしてください。[同意する] ボタンをクリックしないと、「BeatJam」を使用できません。

## Windows Media Player を初めて起動したとき

初めて起動したときは、[Windows Media Player 9 シリーズへようこそ] 画面が表示されます。画面の指示に従ってプライバシーオプションとインストールオプションを設定してください。

インストールオプションの設定では、[ファイルの種類] タブで [DVD ビデオ] のチェックをはずしてください。

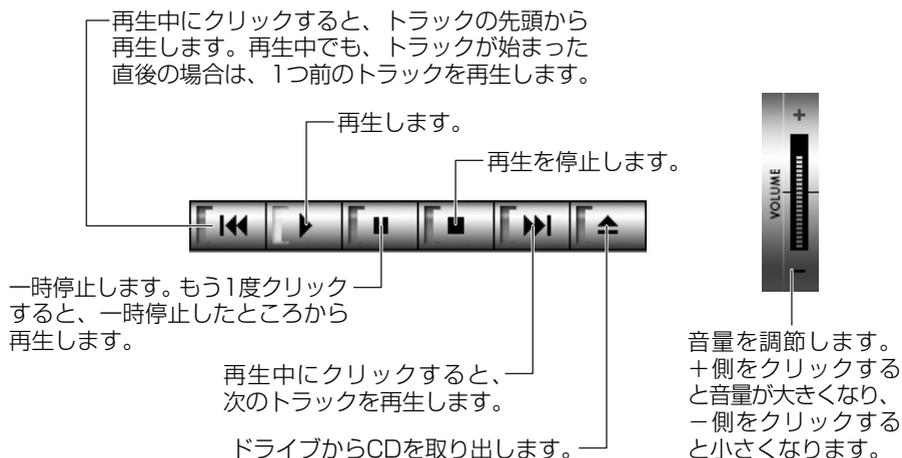


DVD-Video の再生には、「InterVideo WinDVD」の使用を推奨します。

## 2 操作画面

アプリケーションごとの各操作ボタンの役割は次のとおりです。

### BeatJam を起動した場合



### 【ヘルプの起動方法】

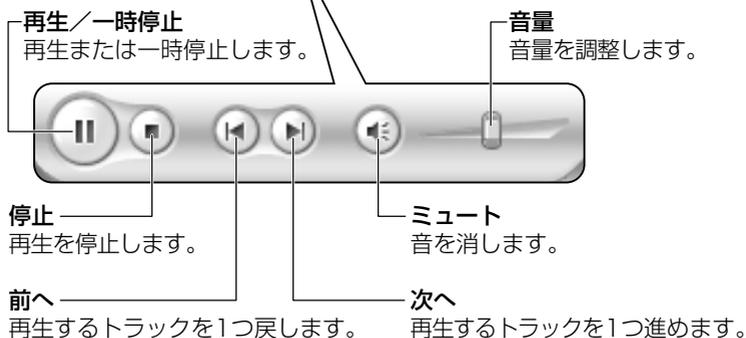
- 1 「BeatJam」を起動後、メニューバーから【ヘルプ】→【BeatJamの使い方】をクリックする



「BeatJam」の問い合わせ先

『困ったときは 付録 1 アプリケーションの問い合わせ先』

## Windows Media Player を起動した場合



## 【ヘルプの起動方法】

- 1 「Windows Media Player」を起動後、メニューバーから【ヘルプ】→【トピックの検索】をクリックする

**参照** → 「Windows Media Player」の問い合わせ先  
『困ったときは 付録 1 アプリケーションの問い合わせ先』

## 2 音楽ファイルを聴く

本製品では次のような音楽ファイルを再生できます。

- WAVE形式 (.wav) ●WMA形式 (.wma) ●MP3形式 (.mp3) など

### メモ

「BeatJam」はMP3ファイルの再生は可能ですが、MP3形式のデータを作成することはできません。

## 1 BeatJamでファイルを再生する

### 1 音楽ファイルを直接再生する

次のようにファイルを再生します。

- 1 [ライブラリ] ボタン (  ) をクリックする  
[ライブラリ] 画面が表示されます。



- 2 画面左にある一覧で [すべての曲] をクリックし①、[マイコンピュータ] などで再生したい音楽ファイルを「BeatJam」のメイン画面にドラッグアンドドロップする②



音楽ファイルはアルバム名やアーティスト名によって、自動的にカテゴリに分類されて追加されます。

プレイリストが作成されている場合、プレイリストにドラッグアンドドロップするとそのプレイリストにも追加されます。

 参照 ▶ プレイリストについて「本項 2 プレイリストを作成する」

### 3 画面左でカテゴリやグループを選択し①、表示された一覧から再生したいファイルを選択する②



このとき画面左の「すべての曲」をクリックすると、カテゴリやグループに分けず、すべてのファイルが表示されます。

### 4 [再生] ボタン (▶) をクリックする

選択したトラックが再生されます。

選択したトラックのあとは、一覧に表示されている順に再生されます。

## 2 プレイリストを作成する

音楽ファイルを好きな順序に並べてプレイリストを作成すると、複数の音楽ファイルを聴きたい順番で再生することができます。

### 1 ライブラリにファイルを追加する

ライブラリにファイルを追加して、プレイリスト作成の準備をします。

#### ● 音楽CDのトラックをコピーする場合

#### ① [CD] ボタン (CD) をクリックする

[CD] 画面が表示されます。

#### ② 音楽CDをドライブにセットする

自動的に再生が始まったときは、[停止] ボタン (■) をクリックして停止してください。

[Audio CD] 画面が表示されたときは、[キャンセル] ボタンをクリックして画面を閉じてください。

#### ③ 一覧で、録音したいトラックの左側にあるボックスをチェック (☑) する 一覧の左下にある ☑ をクリックすると、一覧表示されているすべてのトラックが録音されます。☐ をクリックすると、一覧表示されているすべてのトラックが録音されません。

#### ④ [曲のビットレート] (132k 105k 66k) で、どのビットレートで録音するかを選択する

ビットレート数が高いほど、良い音質で録音されます。

#### ⑤ [録音] ボタン (録音▶) をクリックする

[CDの録音] 画面が表示され、録音が始まります。

#### ⑥ 録音が終わったら、[閉じる] ボタンをクリックする

## 曲情報を取り込む

音楽 CD の情報を Gracenote CDDb から取り込むことができます。Gracenote CDDb については、BeatJam のヘルプを確認してください。Gracenote CDDb は、ユーザ登録しないと使用できません。Gracenote CDDb で曲の情報を取り込めないときは、[Artist] にアーティスト名や、[Genre] にジャンル名を入力します。ジャンル名はメニューから選択することもできます。

- ファイルを追加する場合

「本項 1 音楽ファイルを直接再生する」の手順 1、2 を参照して、音楽ファイルをライブラリに追加してください。

- 2 [ライブラリ] ボタン (  ) をクリックする

- 3 [編集メニュー] ボタン (  ) をクリックして、表示されるメニューから [プレイリストの新規作成] をクリックする  
[プレイリストの一覧] に「New Playlist」という新しいプレイリストが作られます。



- 4 新しいプレイリストの名前を入力し、(Enter) キーを押す

プレイリスト名が確定されます。

- 5 追加したいファイルが含まれているグループを、画面左の一覧にある [すべての曲] ~ [お好み検索] から選択する

- 6 一覧から、プレイリストへ追加するファイルを選択する



(Ctrl) キーを押したままファイルをクリックすると、順番が離れている複数の曲を選べます。(Shift) キーを押したままファイルをクリックすると、順番が続いている複数の曲を選べます。

- 7 選択したファイルをドラッグし、画面左の一覧にある、追加したいプレイリストの上でドロップする  
プレイリストに曲が追加されます。

### 3 プレイリストから再生する

- 1 [ライブラリ] ボタン (  ) をクリックする
- 2 画面左の一覧にある [プレイリスト] の中から、聴きたいプレイリストをクリックする
- 3 [再生] ボタン (  ) をクリックする  
一覧に表示されている順に再生されます。

## 2 Windows Media Player でファイルを再生する

まず、再生する音楽ファイルを用意してください。音楽ファイルは、インターネットからダウンロードしたりアプリケーションを使って自分で作ることもできます。

各音楽ファイルは「1トラック」として扱われます。

音楽ファイルには、曲名やアーティスト名などの情報が記録されていることがあります。これらの情報がある場合は、画面上に表示されます。

### 1 音楽ファイルを再生する

再生リストを作成していない場合は、次のように操作してください。

- 1 [Windows Media Player] のメニューバーから [ファイル] → [開く] をクリックする
- 2 聴きたい曲のファイルを選択し①、[開く] ボタンをクリックする②



再生が開始されます。

➡ 参照 Windows Media Player の操作について「本章 1 音楽 CD を聴く」

## 2 再生リストを作成する

ファイルを好きな順序に並べた再生リストを作成すると、複数の音楽ファイル（CD、ラジオ局、およびビデオからの複数のトラックなど）をグループ化して、指定した順序で再生することができます。

### 1 メディアライブラリにファイルを追加する

- 音楽CDのトラックをコピーする場合
  - ① 音楽CDをセットする
  - ② [CDから録音] ボタンをクリックする
  - ③ コピーするトラックをチェックする
  - ④ [音楽の録音] ボタンをクリックする
  - ⑤ [録音オプション (1 / 2)] 画面でオプションを選択する
  - ⑥ [CDから録音される音楽が、...] の項目を読み、チェックする
  - ⑦ [次へ] ボタンをクリックする
  - ⑧ [録音オプション (2 / 2)] 画面でオプションを選択する
  - ⑨ [完了] ボタンをクリックする
- ファイルを追加する場合
  - ① メニューバーから [ファイル] → [メディアライブラリに追加] → [ファイルまたは再生リストを追加] をクリックする
  - ② [ファイルを開く] 画面でファイルを選択する
- インターネット上の音楽ファイルなどのマルチメディアを追加する場合
  - ① メニューバーから [ファイル] → [メディアライブラリに追加] → [URLを追加] をクリックする
  - ② [開く] 画面で URL またはパスを指定する

### 2 [メディアライブラリ] ボタンをクリックする



メディアライブラリを初めて使うときに限り、メッセージが表示されます。  
[いいえ] ボタンをクリックしてください。

## 3 [すべての音楽] をクリックする

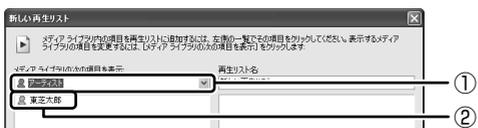


メディアライブラリに追加されているファイルが表示されます。

## 4 [再生リスト] ボタンをクリックし①、表示されたメニューから [新しい再生リスト] をクリックする②

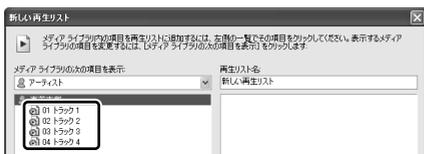


## 5 [メディア ライブラリの次の項目を表示] で再生リストに追加したいファイルのカテゴリを選択し①、表示されたカテゴリから目的の項目を選択する②



ファイルの一覧が表示されます。

## 6 再生リストに追加するファイルをクリックする



クリックしたファイルが、[再生リスト名] の下に表示されます。

## 7 [再生リスト名] に再生リストの名前を入力し①、[OK] ボタンをクリックする②

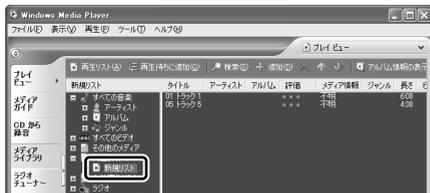


ここでは例として再生リスト名を「新規リスト」とします。

ファイルが再生リストに追加されます。  
新しい再生リストが作成されました。

## 3 再生リストから再生する

### 1 [メディアライブラリ] 画面で、目的の再生リストをクリックする



リストの内容が右画面に表示されます。

### 2 [再生] ボタン (▶) をクリックする

再生が開始されます。

# 3 オリジナル音楽CDを作る

ドラッグンドロップ シーディープラスディーブイディー  
「Drag'n Drop CD + DVD」は、CD-RW、CD-R にデータを書き込むことができるアプリケーションです。

ここでは、オリジナルの音楽CDを作成する手順について説明します。  
データのバックアップを作成する手順については、『困ったときは2章2バックアップをとる』を参照してください。

「Drag'n Drop CD + DVD」は、本製品にはインストールされていません。  
インストールしてから使用してください。

▶参照 「Drag'n Drop CD + DVD」のインストールについて  
「本節 ①-1 インストール方法」

## 1 Drag'n Drop CD + DVD を使うために

### お願い CD-RW、CD-R に書き込む前に

CD-RW、CD-Rに書き込みを行うときは、「Drag'n Drop CD + DVD」を使用してください。本製品に添付の「Drag'n Drop CD + DVD」以外のCD-RW、CD-Rライティングソフトウェアは動作保証していません。Windows標準のライティング機能や市販のライティングソフトウェアは、使用しないでください。

CD-RW、CD-Rに書き込みを行うときは、次の注意をよく読んでから使用してください。守らずに使用すると、書き込みに失敗するおそれがあります。また、ドライブへのショックなど本体異常や、メディアの状態などによっては処理が正常に行えず、書き込みに失敗することがあります。

- CD-RW、CD-Rに書き込む際には、それぞれの書き込み速度に対応したメディアを使用してください。また、推奨するメーカーのメディアを使用してください。

▶参照 CD-RW、CD-Rについて 「1章 8-② 使用できるCD」

- バッテリー駆動で使用中に書き込みを行うと、バッテリーの消耗などによって書き込みに失敗するおそれがあります。必ずACアダプタを電源コンセントに接続してください。
- 書き込みを行う際は、本製品の省電力機能が働かないようにしてください。また、スタンバイや休止状態を実行しないでください。

▶参照 省電力機能について 「5章 バッテリー駆動」

- 
- ライティングソフトウェア以外のソフトウェアは終了させてください。
    - ・ スクリーンセーバ
    - ・ ウイルスチェックソフト
    - ・ ディスクのアクセスを高速化する常駐型ユーティリティ
    - ・ モデムなどの通信アプリケーション などソフトウェアによっては、動作の不安定やデータの破損の原因となりますので使用しないことを推奨します。
  - SD メモリカード、PC カードタイプのハードディスクドライブ、USB 接続のハードディスクドライブなど、本製品のハードディスク以外の記憶装置にあるデータを書き込む際は、データをいったん本製品のハードディスクに保存してから書き込みを行ってください。
  - LAN を経由する場合は、データをいったん本製品のハードディスクに保存してから書き込みを行ってください。
  - 「Drag'n Drop CD + DVD」は、パケットライト形式での記録機能は備えていません。

## お願い 書き込み／削除を行うにあたって

- タッチパッドを操作する、ウィンドウを開くなど、パソコン本体の操作を行わないでください。
- パソコン本体に衝撃や振動を与えないでください。
- 次の機器の取り付け／取りはずしを行わないでください。  
PC カード、USB 対応機器、CRT ディスプレイ、i.LINK 対応機器（1394 モデルのみ）、SD メモリカード
- パソコン本体から携帯電話、および他の無線通信装置を離してください。
- 重要なデータについては、書き込み終了後、必ずデータが正しく書き込まれたことを確認してください。

「Drag'n Drop CD + DVD」は、本製品にはインストールされていません。次の手順に従って、インストールしてください。

## 1 インストール方法

### 1 添付のアプリケーション CD-ROM をセットする

 参照 CD のセット『基本をマスター 1 章 1-③ CD / DVD』

## 2 画面の指示に従って「Drag'n Drop CD + DVD」をインストールする

[ファイルのダウンロード] 画面が表示された場合は、[開く] ボタンをクリックしてください。

## 2 Drag'n Drop CD + DVD を使う

インストールされた「Drag'n Drop CD + DVD」は、自動的に起動しデスクトップ上にアイコンが表示されます。

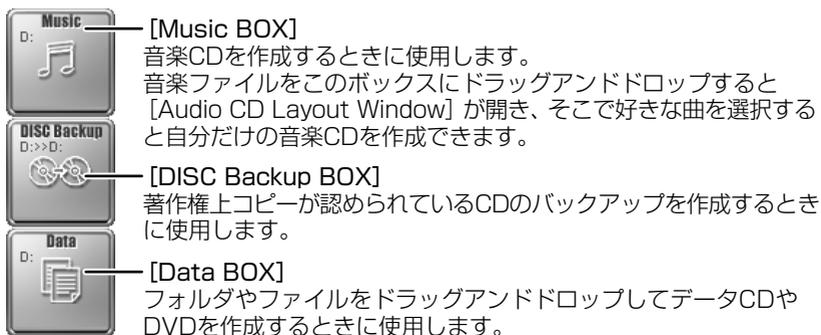
「Drag'n Drop CD + DVD」を終了させた場合は、次の手順で起動してください。

### 1 起動方法

- 1 [スタート] → [すべてのプログラム] → [Drag'n Drop CD + DVD] → [Drag'n Drop CD + DVD] をクリックする  
デスクトップ上に、アイコンが表示されます。

### 2 Drag'n Drop CD + DVD の基本操作

デスクトップに表示されるアイコンは、次のような役割をもっています。



▶ **参照** 詳細については『困ったときは 2章 2 バックアップをとる』

CDに保存されているWMA方式またはWAVE方式の音楽ファイルを使用して音楽CDを作成する場合は、CDから直接 [Music BOX] にドラッグできません。1度ハードディスクに保存してから音楽CDを作成してください。

### 3 音楽CDを作成する

#### 1 音楽CDをドライブにセットする

[Audio CD (D:)] 画面が表示された場合は、[キャンセル] ボタンをクリックしてください。

#### 2 [スタート] → [マイ コンピュータ] をクリックする

#### 3 [Audio CD (D:)] アイコン ( ) を、[Music BOX] にドラッグアンドドロップする

[Audio CD Layout Window] 画面が表示され、[音楽CDトラック情報] には曲情報が表示されています。

#### 4 [ブランク CD サイズ] を指定する

#### 5 書き込みたいトラックを選択する

トラックは複数選択できます。

[再生] ボタン (  ) をクリックすると試し聴きできます。



#### 6 [選択トラックをリストに追加] ボタン ( ) をクリックする

デジタル抽出が開始されます。デジタル抽出が完了するまで、しばらくかかります。進行状況は、[デジタル抽出状況] のバーで確認できます。完了すると、[ベストアルバムトラック情報] に抽出した曲が表示されます。



曲順を入れ替えたい場合は、トラックを選択して移動したい位置へドラッグアンドドロップします。

不要なトラックは  ボタンで削除できます。

他の音楽CDからも取り込みたい場合は、ここで音楽CDを入れ替え、手順5、6を繰り返します。

7 音楽CDを取り出し、未使用のCD-Rをセットする

8 **【書き込み】ボタン** (  ) をクリックする

CDへの書き込みが開始されます。書き込みが終了すると、ドライブのディスクトレイが自動的に開きます。

## ヘルプの起動方法

「Drag'n Drop CD + DVD」の詳しい情報は、ヘルプを確認してください。

1 **【スタート】** → **【すべてのプログラム】** → **【Drag'n Drop CD + DVD】** → **【Drag'n Drop CD + DVDのヘルプ】** をクリックする  
「Drag'n Drop CD + DVD」のヘルプが表示されます。

 **参照** 「Drag'n Drop CD + DVD」の問い合わせ先  
『困ったときは 付録 1 アプリケーションの問い合わせ先』

## 3 Drag'n Drop CD + DVDを終了する

「Drag'n Drop CD + DVD」を終了するときは、次の手順で行います。

1 **通知領域の【Drag'n Drop CD + DVD】アイコン** (  ) を右クリックし、表示されたメニューから **【終了】** をクリックする  
デスクトップ上に表示されていたアイコンが消えます。

# 4 DVD-Video を観る

本製品は、ドライブに DVD-Video をセットして、迫力ある映像を楽しむことができます。

DVD-Video 再生ソフトウェアとして、<sup>インタービデオ</sup>「InterVideo WinDVD」<sup>ウィンディーファイター</sup> が用意されています。

## お願い DVD-Video の再生にあたって

- DVD-Video の再生には、「InterVideo WinDVD」を使用してください。「Windows Media Player」やその他市販ソフトを使用して DVD-Video を再生すると、表示が乱れたり、再生できない場合があります。このようなときは、「InterVideo WinDVD」を起動し、DVD-Video を再生してください。
- DVD-Video 再生ソフト「InterVideo WinDVD」は、Video CD、Audio CD、MP3 の再生はサポートしていません。
- DVD-Video 再生時は、なるべく AC アダプタを接続してください。省電力機能が働くと、スムーズな再生ができない場合があります。バッテリー駆動で再生する場合は「東芝省電力キューティリティ」で「DVD 再生」モードに設定してください。
- 使用する DVD ディスクのタイトルによっては、コマ落ちしたり、マルチアングルシーンで一時停止ができない場合があります。
- DVD-Video を再生する前に、他のアプリケーションを終了させてください。また、再生中には他のアプリケーションを起動させたり、不要な操作は行わないでください。

再生中に、常駐しているプログラムの画面やアイコンなどがちらつく場合は、「InterVideo WinDVD」を最大表示にしてください。

- 外部ディスプレイに表示する場合は、再生する前にあらかじめ表示装置を切り替えてください。また、マルチモニタ（内部液晶ディスプレイと外部ディスプレイの同時表示）の設定では、外部ディスプレイに表示するための設定が必要です。

**参照**▶ 表示装置の切り替え「4 章 4-2 表示装置を切り替える」

その他の注意については、「Readme」に記載しています。

「Readme」の起動は、[スタート] → [すべてのプログラム] → [InterVideo WinDVD] → [readme\st.txt] をクリックしてください。

# 1 InterVideo WinDVD を起動する

「InterVideo WinDVD」を起動する方法は、次のとおりです。

## 1 起動方法

### 1 DVD-Video をセットする

アプリケーションを選択する画面が表示されます。

**参照**▶ DVDのセットについて『基本をマスター 1章 1-③ CD / DVD』

アプリケーションを選択する画面が表示されない場合は、[マイ コンピュータ] で (D:) ドライブをダブルクリックしてください。

「InterVideo WinDVD」が起動します。

### 2 [DVDムービーの再生 InterVideo WinDVD 使用] を選択し①、 [OK] ボタンをクリックする②



「InterVideo WinDVD」が起動します。

### メモ

[スタート] メニューから「InterVideo WinDVD」を起動するには、[スタート] → [すべてのプログラム] → [InterVideo WinDVD] → [InterVideo WinDVD] をクリックしてください。

## 2) InterVideo WinDVD を使う

「InterVideo WinDVD」を起動するとメインウィンドウと WinDVD コントロールパネルが表示されます。

再生する DVD-Video によっては、表示が一部異なる場合があります。  
また、操作ボタンの一部は機能に対応している場合のみ使用できます。

メインウィンドウ  
ビデオを表示します。

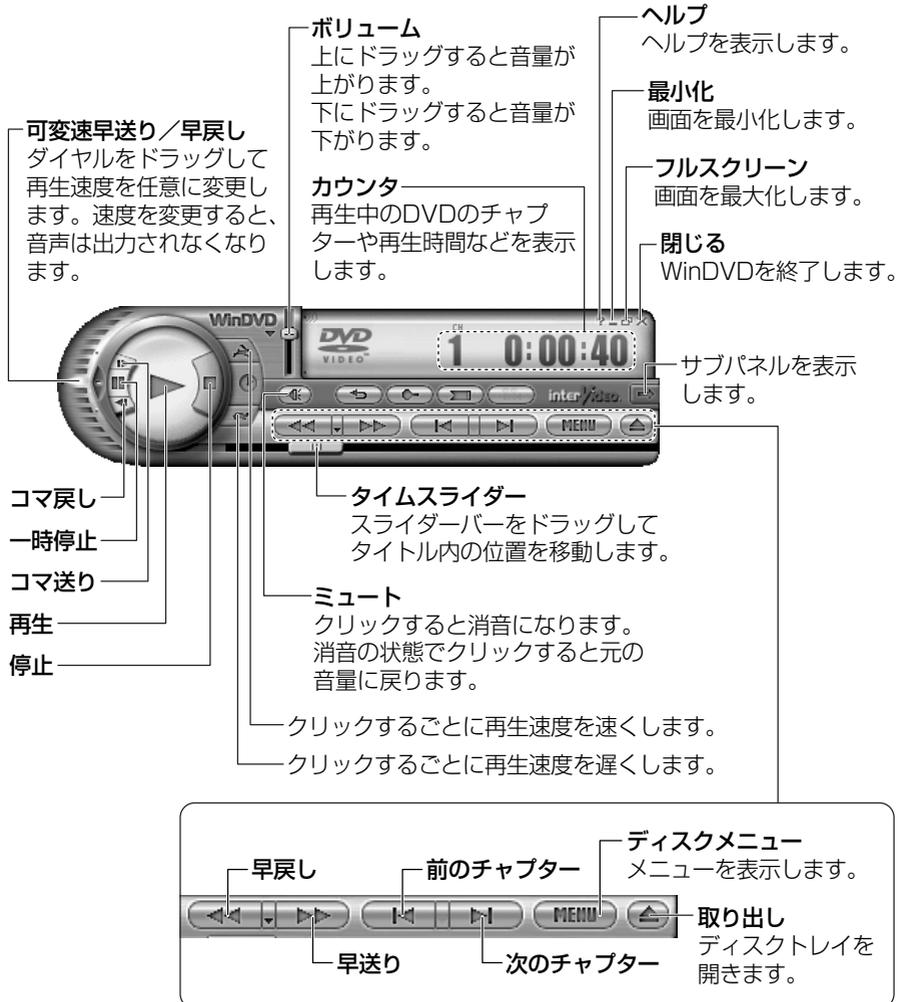


### WinDVDコントロールパネル

DVDの再生は、このパネルのボタンで操作します。  
再生の操作でおもに使用するボタンについては、  
「本項 1 WinDVDコントロールパネル」を参照して  
ください。

## 1 WinDVDコントロールパネル

DVD再生のときは、おもに次のボタンを使用します。  
各ボタンの詳細については、ヘルプを確認してください。



## 2 サブパネル

サブパネルで、再生する DVD に応じてオーディオ、ビデオ、その他の付加機能を調節することができます。

### 【サブパネルの表示と切り替え】

- 1 WinDVD コントロールパネルの [サブパネル] ボタンをクリックする



- 2 表示されたメニューから調節する機能を選択し、クリックする

### 【サブパネルの非表示】

表示しているサブパネルを閉じる場合は、次のように操作してください。

- 1 [サブパネルを閉じる] ボタンをクリックする



## 3 基本設定の変更

「InterVideo WinDVD」を使用するときの全体的な設定は [セットアップ] 画面で行います。この設定は、再生するすべてのディスクに適用されます。

- 1 サブパネルの [セットアップ] ボタンをクリックする



[セットアップ] 画面が表示されます。  
各タブで設定を行ってください。

## 4 テレビに表示する

テレビアウトモデルでは、パソコン本体にテレビを接続して、DVD-Videoの再生画面をテレビに表示させることができます。

テレビに表示するために、表示装置の切り替えが必要です。

表示装置の切り替えは、「InterVideo WinDVD」を起動する前に行ってください。

 参照 ▶ テレビの接続、表示装置の切り替え 「4章 4 テレビを接続する」

### ヘルプの起動方法

- 1 WinDVD コントロールパネルの [ヘルプ] ボタン (  ) をクリックする

 参照 ▶ 「InterVideo WinDVD」の問い合わせ先  
『困ったときは 付録 1 アプリケーションの問い合わせ先』

# 5 デジタルカメラの写真を編集/整理する

本製品には、画像を編集できるアプリケーション「ウォーカー デジカメ Walker (ユーリード Ulead アイフォト iPhoto エクスプレス Express)」が用意されています。

「デジカメ Walker」を使うと、写真などの画像を簡単に編集できます。編集した画像を使ってカードや Web ページを作成したり、アルバムを作って画像を管理することもできます。

## 1 起動方法

- 1 [スタート] → [すべてのプログラム] → [デジカメ Walker] → [Ulead iPhoto Express] をクリックする

モードを選択します。管理、編集、テンプレートから選択できます。

ショートカットバー——よく使う操作をボタンから行うことができます。

コマンドパネル  
モードによってコマンドが変わります。作業領域で行う作業を選択します。

オプションパネル  
コマンドによって表示が切り替わります。詳しい設定ができます。

作業領域——  
イメージやプロジェクトを見たり編集したりする場所です。

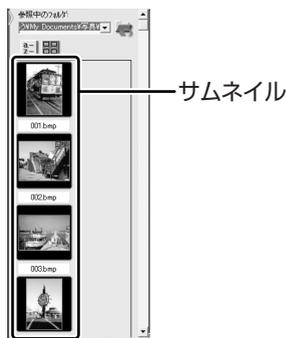
サムネイルストリップ——  
開いているイメージやプロジェクトのサムネイル（一覧表示画像）が表示されます。

## 2 写真を編集する

ここでは、デジタルカメラで撮った写真をパソコンにファイルとして取り込んだ状態で、編集を加える場合について説明します。

デジタルカメラからパソコンへの取り込みかたは、接続するデジタルカメラによって異なります。詳しくは、『デジタルカメラに付属の説明書』を確認してください。

- 1 **【編集】モード** (  ) でコマンドパネルから **【フォト取り出し】** → **【マイコンピュータ】** をクリックする  
オプションパネルに **【参照中のフォルダ】** が表示されます。
- 2  をクリックし、表示されたメニューから **編集する写真のあるフォルダ** をクリックする  
オプションパネルにサムネイルが表示されます。
- 3 **編集する画像のサムネイル** をクリックし、**【開く】** ボタンをクリックする



作業領域に画像が表示されます。

- 4 コマンドパネルから **【編集】** のメニューをクリックし、画像を加工する

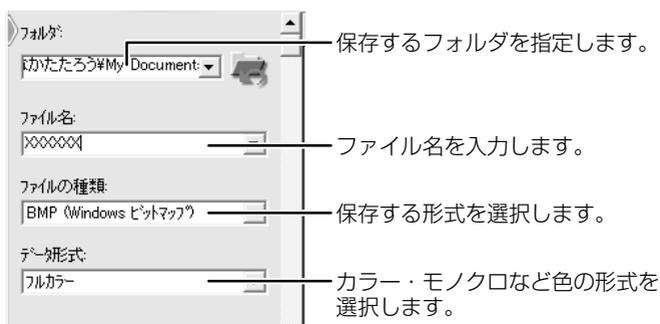
次のメニューから、画像にさまざまな効果を加えることができます。

調整	画像の切り抜き、サイズや明るさ／色の調整などを行います。
選択範囲	用途や形、色に基づいて範囲を選択します。
テキスト	画像に文字を書き込みます。文字にもいろいろな効果を選べます。
ペイント	筆で絵に色をつけるように、画像にさまざまな効果を加えます。
装飾	縁取りやイラスト、影の追加などが行えます。

### 3 加工した画像を保存する

#### 1 コマンドパネルから [共有] → [保存] をクリックする

オプションパネルに、保存についての項目が表示されます。



#### 2 [保存] ボタンをクリックする

### ヘルプの起動方法

- 1 「**デジカメ Walker (Ulead iPhoto Express)**」を起動後、メニューバーから **[ヘルプ]** → **[Ulead iPhoto Express のヘルプ]** をクリックする

### PDF マニュアルの起動方法

- 1 **[スタート]** → **[すべてのプログラム]** → **[デジカメ Walker]** → **[Screenbook]** をクリックする

**参照** → 「**デジカメ Walker**」の問い合わせ先  
『困ったときは 付録 1 アプリケーションの問い合わせ先』

# 6 映像を編集する

デジタルビデオカメラで撮影した映像を本製品に取り込み、編集できます。

## 1 映像データをパソコンに取り込む

デジタルビデオカメラを接続し、映像データをパソコンに取り込みます。

ここでは、1394モデルで「MotionDV STUDIO」を使って取り込んだ場合を例に説明しています。

### 1 i.LINK (IEEE1394) ケーブルをパソコン本体に接続する

参照 → i.LINK ケーブルの接続

[4章 6 i.LINK (IEEE1394) 対応機器を接続する]

### 2 ケーブルのもう一方のプラグをデジタルビデオカメラに接続する

### 3 デジタルビデオカメラの電源を入れる

[デジタル ビデオ デバイス] 画面が表示されます。

### 4 [ビデオの編集 Panasonic MotionDV STUDIO 使用] を選択し

①、[OK] ボタンをクリックする②



「MotionDV STUDIO」が起動します。初めて起動したときは、  
[Panasonic MotionDV STUDIO 使用許諾書] 画面が表示されます。契約内容を確認のうえ、[同意します] ボタンをクリックしてください。

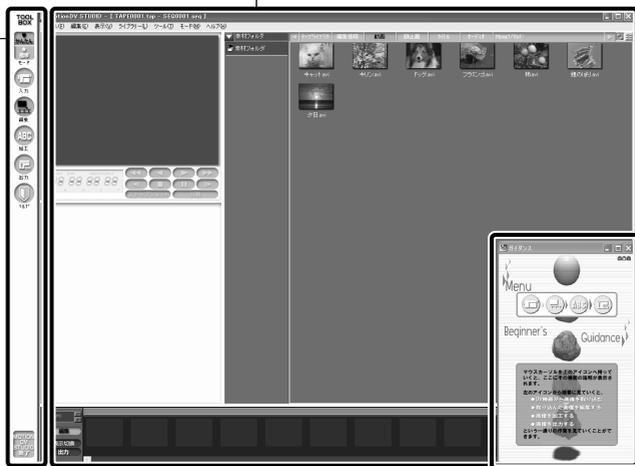
## 【[MotionDV STUDIO] 画面】

### TOOL BOX

目的の操作・機能を選びます。

### ワークエリア

映像データの加工や編集などの操作を行うエリアです。[TOOL BOX] で選んだ機能によって画面が切り替わります。

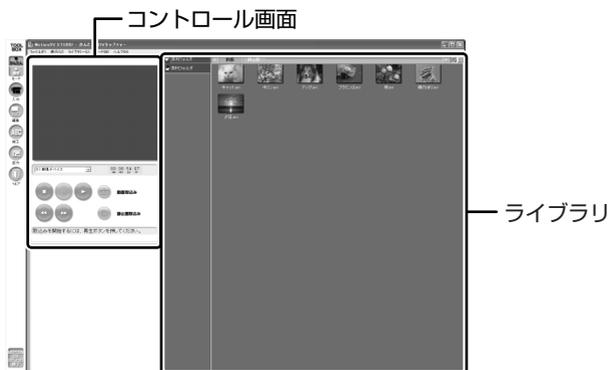


### ビギナーズガイド

[TOOL BOX] で選んだ機能に関する操作説明が表示されます。

## 5 [TOOL BOX] の [入力] ボタン ( ) をクリックする

[ワークエリア] が [コントロール画面] と [ライブラリ] に分かれます。



## 6 [再生] ボタン ( ) をクリックする

接続したデジタルビデオカメラの映像が再生され、[コントロール画面] に映像を表示します。

- 7 取り込みたいシーンで [動画取り込み] ボタン (  ) をクリックする  
取り込み中は次の画面が表示されます。



- 8 取り込みを終了したいシーンで [終了] ボタンをクリックする  
取り込んだ映像 (本書では「ビデオクリップ」と呼びます) が保存され、  
[ライブラリ] の [動画] タブにビデオクリップの最初のシーンがアイコン  
表示されます。



取り込みたいシーンで手順7と8を繰り返します。取り込んだシーンごとにビデオクリップが作成されます。

取り込みが終了したら [停止] ボタン (  ) をクリックして映像の再生を停止します。

## 2 MotionDV STUDIO で映像データを編集する

「MotionDV STUDIO」を使って、デジタルビデオカメラから取り込んだ映像データにタイトルを付けたり、複数の映像データをつなぎ合わせるなど編集することができます。ここではタイトルをつけ、他の映像データとつなぎ合わせて1つの映像データにしてみましょう。

### お願い 映像データの編集について

- 「InterVideo WinDVD」など映像を表示するアプリケーションが動作していると、編集中のプレビューが正しく表示できない場合があります。編集中は他のアプリケーションを終了してください。
- 編集中のプレビューは内部液晶ディスプレイにのみ表示されます。本体に外部ディスプレイを接続している場合、外部ディスプレイには表示されません。
- 著作権保護された映像が保存されている DVD-RW、DVD-R の映像の編集は「MotionDV STUDIO」では行えません。
- 「MotionDV STUDIO」動作中は、画面の解像度・色数の変更は行わないでください。

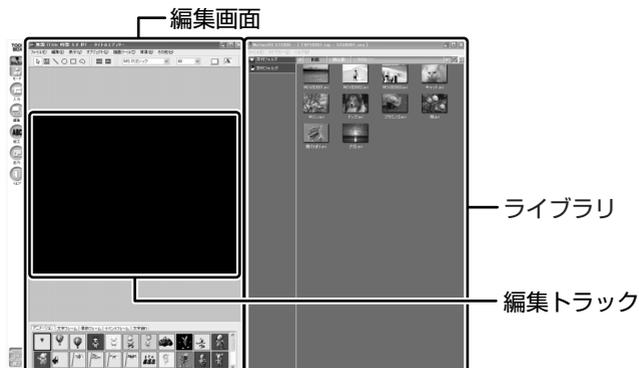
### メモ

デジタルビデオカメラから映像データを取り込んだ後、「MotionDV STUDIO」を終了させた場合は、[スタート] → [すべてのプログラム] → [Panasonic] → [MotionDV STUDIO for TOSHIBA] → [MotionDV STUDIO] をクリックして、もう1度「MotionDV STUDIO」を起動してください。

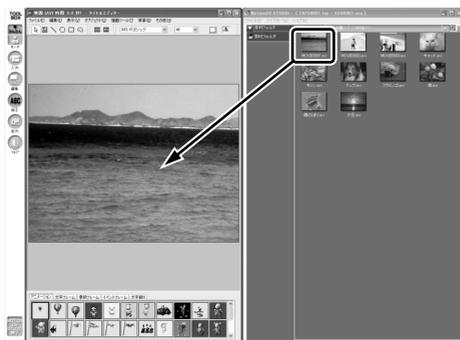
## 1 タイトルを入れる

取り込んだ映像データにタイトルなどの文字を追加する場合は、ビデオクリップを選択し、文字を入力して別のビデオクリップとして保存します。追加した文字は、そのビデオクリップの初めから終わりまで表示されます。

- 1 【TOOL BOX】の【加工】ボタン（ABC）をクリックする  
[ワークエリア]が【編集画面】と【ライブラリ】に分かれます。



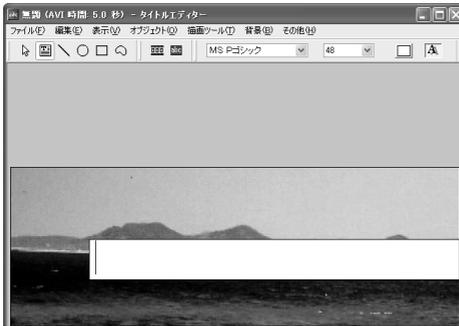
- 2 【ライブラリ】の【動画】タブから編集したいビデオクリップを【編集トラック】にドラッグアンドドロップする



- 3 【編集画面】のツールバーの【文字】アイコンをクリックする



#### 4 [編集トラック] でクリックする



画面上にカーソルが表示され、文字が入力できます。

#### 5 文字を入力する



## 6 【編集画面】のツールバーの【選択】アイコンをクリックする



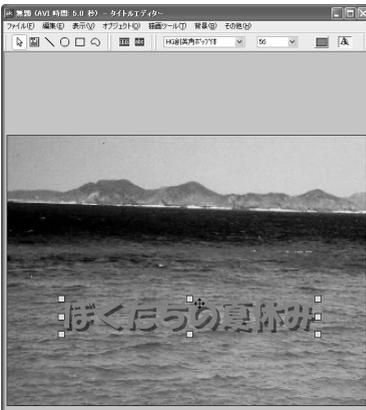
入力した文字が選択されます。



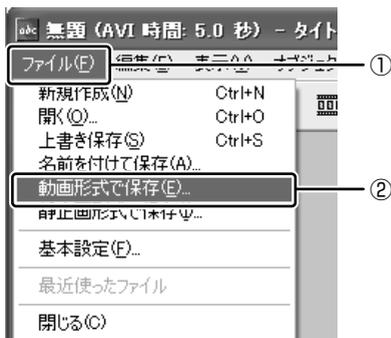
## 7 【編集画面】のツールバーの【文字フォント】【文字サイズ】【文字色】でフォント、サイズ、色を選択する

8 ポインタが  の状態でドラッグアンドドロップする

ドロップした位置に文字が配置されます。



## 9 [編集画面] のメニューバーの [ファイル] をクリックし①、表示されたメニューから [動画形式で保存] をクリックする②



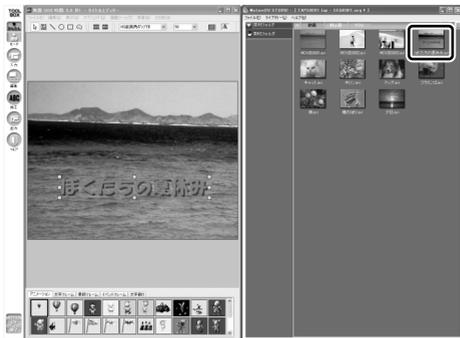
ビデオクリップとして使用するので、  
[動画形式で保存] を選択します。

## 10 ファイル名を入力し、[保存] ボタンをクリックする

ファイル作成中の画面が表示されます。



ファイルの作成が終わると、作成したビデオクリップが [ライブラリ] の [動画] タブに新しいビデオクリップとして表示されます。



## 2 複数のビデオクリップをつなぎ合わせる

いくつかのビデオクリップをつなぎ合わせて1つの映像データに編集します。

### 1 [TOOL BOX] の [編集] ボタン ( ) をクリックする

「無題への変更を保存しますか？」という画面が表示された場合は [いいえ] ボタンをクリックしてください。

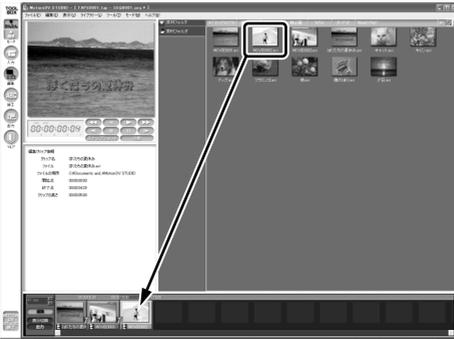
ワークエリアが [コントロール画面]、[ライブラリ]、[編集トラック画面] に分かれます。



### 2 メニューバーの [ファイル] をクリックし①、表示されたメニューから [新規作成] をクリックする②



### 3 [ライブラリ] の [動画] タブからつなぎ合わせたいビデオクリップのアイコンを [編集トラック画面] にドラッグアンドドロップする



[編集トラック画面] にドロップされたビデオクリップは1つの映像データになります。

[再生] ボタン (▶) をクリックすると、編集した映像データを [コントロール画面] に再生します。[クリップを戻す] ボタン (◀◀) や [クリップを送る] ボタン (▶▶) で再生を開始するビデオクリップを変更できます。

## 編集した映像データを保存する

編集した映像データを保存したり、途中でやめるときは、次の手順で保存します。

- 1 メニューバーの [ファイル] をクリックし①、表示されたメニューから [編集情報] → [編集情報を名前を付けて保存] をクリックする②

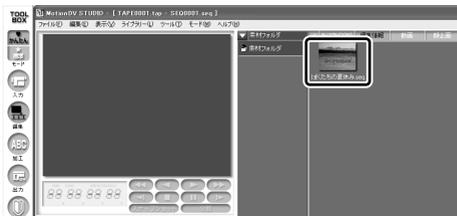


- 2 ファイル名を入力し、[保存] ボタンをクリックする

保存先は「MotionDV STUDIO」でビデオクリップを保存しているフォルダを指定してください。

## 編集を再開する

- 1 「MotionDV STUDIO」を起動し、[TOOL BOX]の[編集]ボタン(  )をクリックする
- 2 [ライブラリ]の[編集情報]タブでビデオクリップのアイコンをダブルクリックする



前回保存した映像データのビデオクリップが[編集トラック画面]に展開されます。

編集を続け、同じファイル名で保存するときはメニューバーの[ファイル]をクリックし、表示されたメニューから[編集情報] → [編集情報を上書き保存]をクリックします。

### お願い 編集した映像データについて

- 編集した映像データを本製品で再生する場合は、「InterVideo WinDVD」を使用してください。「Windows Media Player」やその他の市販ソフトを使用して再生すると、表示が乱れたり、再生できない場合があります。このようなときは、「InterVideo WinDVD」を起動し、再生してください。

「MotionDV STUDIO」にはこの他にもいろいろな編集ツールがあります。さらに詳しい使いかたについては、ヘルプを確認してください。

## ヘルプの起動方法

- 1 「MotionDV STUDIO」を起動後、メニューバーから[ヘルプ] → [ヘルプ]をクリックする

ヘルプを起動すると「Acrobat Reader」が起動し、PDFマニュアルが表示されます。

 参照 「MotionDV STUDIO」の問い合わせ先  
『困ったときは 付録 1 アプリケーションの問い合わせ先』

